Model H300 Series

http://www.iriver.co.jp

(2004.9)

H300シリーズ　取扱説明書

PORTABLE STORAGE DEVICE & MULTI - CODEC JUKEBOX

Model H300 Series

Firmware Upgradable

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を
よくお読みください。

http://www.iriver.co.jp

ユーザー登録について

まずは、iriverホームページでユーザー登録を！

http://www.iriver.co.jp

この度は、iriver H300シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。効率よいサポートを受けていただくために、ご面倒でも弊社ホームページにてユーザー登録をお済ませください。尚、ユーザー登録をしていただきましたお客様には、お買い上げいただきました製品の保証を6ヶ月間延長させていただきます。

また、ユーザー専用ページ「My iriver」では、製品の利用方法を分かりやすく図解で解説したユーザークイックガイドをご覧いただけるほか、語学コンテンツの無償ダウンロードサービスやユーザーの皆様だけに提供されるプレゼントキャンペーン、iriverの最新情報をメルマガでお知らせする「iriver Monthly News（アイリバー・マンスリーニュース）等、多数の特典を用意してお待ちしております。

著作権/認可/免責条項

著　作　権

- iriver社は、本書に関わる全ての特許権、商標権、著作権、およびその他の知的所有権を留保しています。iriver 社の書面による許可を得ることなく本書の一部又は全体を複製することは禁止されています。本書の一部又は全体を違法な方法で使用した場合は、刑事罰に処せられることがあります。
- ソフトウェアや音楽、映画など、著作権のあるコンテンツは、著作権法はもとより、関連する法律によって保護されています。お客様が本製品を使用して、著作権のあるコンテンツを違法な方法で複製したり配布したりした場合、お客様はこのような行為に対して全責任を負う必要があります。
- 本書中の例で使用する会社、組織、製品、個人、およびイベント情報は、現実のデータに基づくものではありません。当社は、このユーザーマニュアルを何れかの会社、組織、製品、または個人に関連付けようと意図するものではありません。このような意図や関連付けを想定しないようにしてください。著作権法を遵守する責任は、お客様にあります。

認　　可

- CE、FCC

商　　標

- Windows、Windows 98 SE、Windows ME、Windows 2000、Windows XP、およびWindows Media Playerは、Microsoft社の登録商標です。
- SRSはSRS Labs社の登録商標です。

免責条項

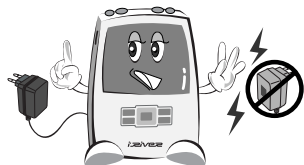
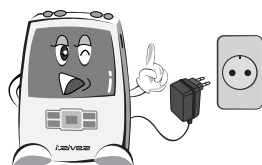
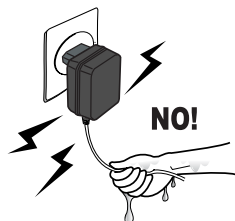
- 製品を不適切な方法で使用したために、人身事故や他の損害など、偶発的な被害を受けた場合、製造者、輸入業者、およびディーラは、このような損害に対して責任を負いかねます。
- 本取扱説明書の情報は、本製品の現行仕様に合わせて記述されたものです。製造者であるiriver社は、今後とも、本製品に対して追加の機能を提供し、新技術を適用するべく努力して参ります。あらかじめ個々のお客様にお知らせすることなく、全ての仕様を変更することがありますので、ご了承ください。

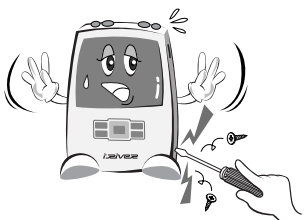
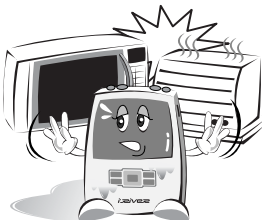
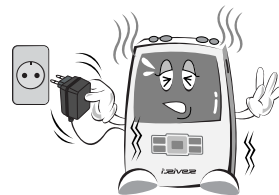
安全上のご注意

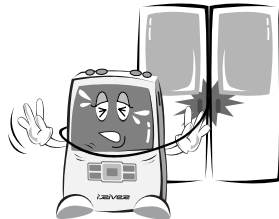
本製品をご使用になる前に、以下の安全上のガイドラインをお読みの上、必ず内容を十分にご理解ください。この安全上のガイドラインは、お客様の安全に関する重要事項について記述し、「危険」、「重要」、および「注意」の三つの項目から成っています。当社は、お客様がこれらの安全上の注意事項を遵守しなかったために発生した事故および損害に対しては責任を負いかねます。

⚠ 危　険	指示どおりの取り扱いを怠ると、重大な人身事故又は死亡事故を被る恐れがあります。
⚠ 重　要	指示どおりの取り扱いを怠ると、人体への重大な危害/軽度の危害又は製品/資産上の損害を受ける恐れがあります。
⚠ 注　意	指示どおりの取り扱いを怠ると、軽度の損害を受ける恐れがあります。

⚠ 危 険

- 指示どおりの取り扱いを怠ると、重大な人身事故または死亡事故を被る恐れがあります。

同梱されたACアダプタのみを使用してください。これ以外のACアダプタを使用すると、火災の発生や感電の恐れがあります。

ACアダプタは、ユーザーマニュアルに記述されている、規格のコンセントタイプのみに接続してください。これ以外のタイプに接続すると、火災の発生や感電の恐れがあります。

濡れた手でACアダプタに触れないようにしてください。本製品の内側や外側が濡れると、感電する恐れがあります。

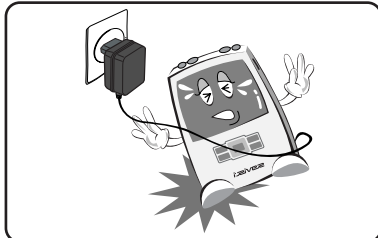
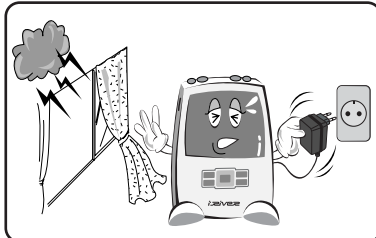
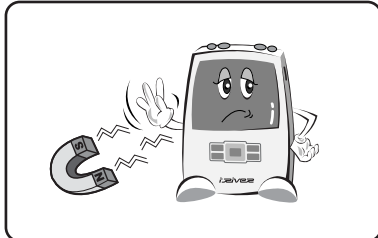
ACアダプタケーブルの上に重い物を置かないようにしてください。ACアダプタケーブルを傷つけたり、折り曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ACアダプタケーブルが破損すると、火災の発生や感電の恐れがあります。

本製品を修理、分解、または改造しないようにしてください。本製品をこのような状態で使用すると、火災の発生や感電の恐れがあります。

本製品を（水や他の液体で）濡らしてしまった場合は、爆発や誤作動の危険性を防止するために、ヒーターや電子レンジで乾かすことはしないでください。

本製品から煙が出たり、臭いがしたり、異常音がしたりした場合は、速やかに電源をオフにして、ACコネクタをコンセントから取りはずしてください。異常状態のまま本製品を使用すると、火災の発生や感電の恐れがあります。

本製品が損傷しないようにするために、落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないようにしてください。損傷した場合は、速やかに電源をオフにして、ACコネクタをコンセントから取りはずしてください。（その際に本製品が充電中であった場合は、ACアダプタを取り外してください。）異常状態のまま本製品を使用すると、火災の発生や感電の恐れがあります。当社カスタマーサポート部門に連絡してください。

イヤフォンを車や電車のドアに挟まないようにしてください。非常に危険な場合があります。

自動車やバイクの運転中や、自転車に乗っている時には、イヤフォンやヘッドフォンは使用しないようにしてください。これは、危険であるばかりでなく、司法管轄区によっては、違法行為とみなされます。横断歩道を歩行中や、他の危険な場所にいる時には、交通事故や他の危険を防止するために、イヤフォンやヘッドフォンは使用しないようにしてください。

- 雷鳴をともなう嵐の最中には、火災の発生や感電を防止するために、速やかに電源をオフにして、ACコネクタをコンセントから取りはずしてください。
- 雷が鳴ったり、稲妻が光っている際は、できるだけ早く電源を切り、電源プラグを外してください。火災の発生や感電の恐れがあります。
- 雷鳴をともなう嵐の天気の場合は、本製品への損傷を防止するために、電源をオフにし、異物や液体が本製品の中に入った場合は、ACコネクターをコンセントから取りはずしてください。
- 感電したり、電磁波の影響を防止するために、本製品およびACアダプタにお子様を近づけないようにしてください。

⚠ 重　要

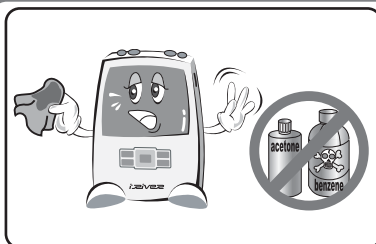
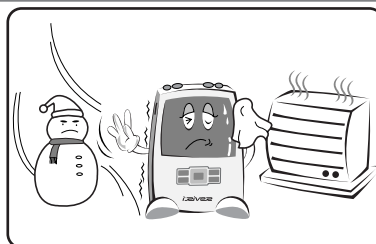
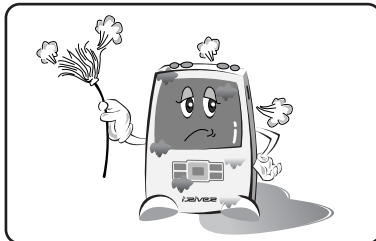
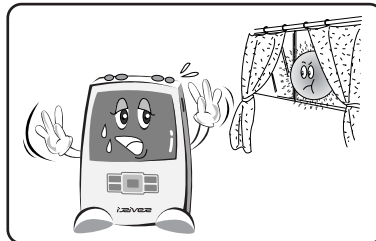
- 指示どおりの取り扱いを怠ると、重大な/軽度な人身事故または製品/資産上の損害を被る恐れがあります。

事故の発生や製品の破損を防止するために、ACアダプタケーブルや他のケーブルを通路上に放置しないようにしてください。

雷鳴をともなう嵐の最中には、過剰電流による製品破損を防止するために、速やかに電源をオフにして、ACコネクタをコンセントから取りはずしてください。

磁石、テレビ、モニタ、スピーカ、自動機器など、強力な磁気製品の近くに本製品を配置しないようにしてください。本製品はデータストレージとして磁気ディスクドライブを使用しているため、磁場によって本製品が破損する恐れがあります。

イヤフォンやヘッドフォンを使用する際は、聴覚障害を防止するため、極端な音量にセットしたり、極端に長時間にわたって再生したりしないようにしてください。

- 同梱されたACアダプタ以外のものは、決して使用しないでください。他のACアダプタを使用すると、誤作動を起こす可能性があります。誤作動によっては修復不能な場合があります。
- ACアダプタは、ユーザーマニュアルに記述されている、定格のコンセントタイプのみに接続してください。他のタイプのコンセントに接続すると、誤作動を起こす可能性があります。誤作動によっては修復不能な場合があります。
- 本装置を勝手に修理、分解、または改造しないようにしてください。損傷する恐れがあり、損傷の程度によっては修復不能な場合があります。
- 雨水、飲み物、飲み薬、化粧品などで本製品を濡らさないようにしてください。本製品が濡れると、誤作動を起こす可能性があります。このような事態が生じた場合は、電源をオフにしないでください。速やかに乾いた清潔な布で拭いてから、技術サポートを依頼してください。損傷によっては、修復不能な場合があります。
- 外部的な衝撃、稲妻、停電、その他の現象によって、本製品に保管されているデータが損傷する可能性があります。お客様は、ご自身の責任においてデータのバックアップを取っておく必要があり、当社は、事情の如何を問わず、保管されたデータの消失に対して責任を一切負いません。
- 物理的な衝撃または他の原因のよってHDDに「不良セクタ」エラーが生じると、本製品が正常に機能しないことがあります。このエラーを訂正するには、Windowsオペレーティングシステムのスキャンディスクプログラムを使用してください。

- ファイルのアップロードまたはダウンロードを行うために本製品をUSBケーブルでPCに接続状態にしてある間は注意が必要です。データの転送中にPCの電源をオフにしたり、USBケーブルを切断したりすると、本製品にHDDエラーが発生する恐れがあります。場合によっては、「Total:0000 Folder(s)」というエラー メッセージが表示されることがあります。Windowsオペレーティングシステムのスキャンディスクプログラムを使ってこのエラーを訂正してください

⚠ 注　意

- 指示どおりの取り扱いを怠ると、軽度の損傷を受ける場合があります。

柔らかな布かタオルで本製品を拭いてください。ベンジン、塗装用シンナー、アセトン、溶剤などの化学薬品は決して使用しないでください。製品の表面や表面の色、塗装が傷ついたり、剥げ落ちたりする可能性があります。

製品の損傷や誤作動を防止するために、以下の状態の下では本製品を使用したり保管したりしないようにしないでください。
*暑すぎる場所や寒すぎる場所。

ほこりっぽい場所や汚れた場所。

直射日光が当たる場所。

- 湿度が高い場所。
- 温度が急変する場所。例えば、エアコンやヒーターの前。
- 熱放射が不可能な、囲まれた場所。
- 本製品への充電が完了した後は、製品の損傷を回避するために、ACアダプタに接続したままの状態で放置しないようにする。
- 本製品上またはリモコン上のボタンを2つ同時に押さないようにする。本製品が誤動作する恐れがあります。
- 1つのデバイス（例：PC）にイヤフォンジャック、Line-In/Outジャック、およびUSBジャックを同時に接続しないようにする。本製品の電源がオフになる可能性があります。
- 製品の誤動作を防ぐために、本製品の上に重い物を載せないようにする。
- 本製品が、修復不能なほど重大な損傷を受けたり、もはや機能しなくなったりした場合は、関連の地域法に従って処分してください。

目　次

H300の特長

◆**2インチのカラーLCD画面。アイコンとメニューの両方をカラーで表示。**
従来は使用できなかったカラフルなアイコンとメニューで直感的に操作できるようになりました。

◆**スーパーサイズのデータ（20 GB／40 GB HDD）をサポート。**
20GB(H320)および40GB(H340)のHDD付きの大容量ポータブルストレージデバイスとして本機を使用できます。

◆**PCを介さずに他のUSBデバイスと直接データの共有が可能。**
デジタルカメラなど、他のポータブルUSBデバイスに本機を直接接続できます。PCは不要です。

◆**高速ファイル転送（USB 2.0）。**
480 MbpsのUSB 2.0インターフェースをサポートしており、これによってポータブルデータ記憶機能を最大限に発揮させることができます。

◆**ファームウェアアップグレード方式により、常に最高のパフォーマンスを維持。**
ファームウェアアップグレードを継続的に提供することで、新機能を追加したりパフォーマンスを改善したりできます。

◆**テキストビュアーとイメージビュアーにより、イメージとテキストの取り扱いが可能。**
テキストビュアー機能とイメージビュアー機能を使ってebook、lyric、および保存されたイメージの表示が可能です。

◆**SRS WOWサウンド効果により、壮大な3Dサウンドが実現。**
業界で高く評価されているSRS WOW技術の採用により、壮大な3Dサウンドと豊かなベースサウンドを体験できます。

◆**5つのプリセットされたイコライザーと1つのユーザー定義によるイコライザー**
5つのプリセットされたEQ (Normal、Rock、Jazz、Classical、Ultra Bass)の中から1つを選択するか、User EQで自分自身のEQを設定します。

◆**組込みのFMチューナーとFM録音機能により、聞きたい時にFMラジオが聞ける。**
自動検索機能と周波数記憶機能を使用すれば、ラジオが簡単に聞けます。移動中に受信を検索するための優れた技術により、素晴らしい体験が得られます。

◆**簡単なナビゲーションで使い方が簡単。**
H300は、最大2,000のフォルダと9,999のファイルで構成され、簡単に検索できます。

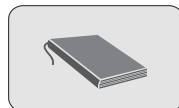
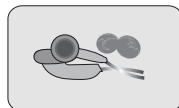
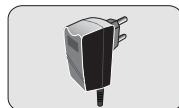
◆**音声と外部サウンドソースの録音が簡単。**
高性能の内部／外部マイクロフォンを使用しての録音、およびアナログ ケーブルでCDプレーヤー、ラジオ受信機などの外部デバイスに接続しての録音がサポートされています。

◆**外部出力(ラインアウト)機能のサポートにより、外部スピーカへの接続が可能。**

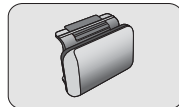
パッケージの内容

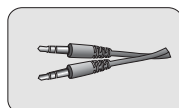
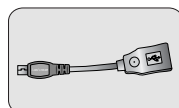
製品の梱包を解き、以下の内容を確認してください。

H300シリーズ
プレーヤー

リモコン

取扱説明書、製品保証カード、
クイック スタート ガイド

イヤフォンおよび
イヤフォンスポンジ

ACアダプタ

キャリーケース

インストールCD

外部電池パック

USBケーブル

ライン イン/アウトケーブル

USBホストケーブル

外部マイク

クレードル
(H340にのみ附属)

[注]
*上記の内容は予告せずに変更される場合がありますのでご了承ください。

各部の名称

プレーヤー

0235 PLAY
I LOVE iRiver
iRiver
Entertainment
Elapsed 00 : 00 | 03 : 50
20
MP3 44KHz 128K SRS
MULTI-CODEC JUKEBOX

カラーLCD画面

電源オン/再生/
一時停止ボタン

電源オフ/停止ボタン

録音/機能選択
ボタン

A-B/EQボタン

前のトラック(曲)/
次のトラック(曲)ボタン

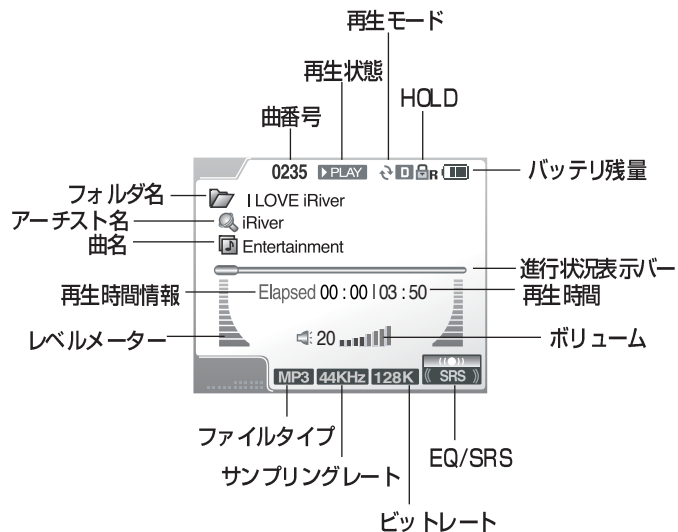
NAVI/MENUボタン

ボリューム調節ボタン

リモコン端子
イヤフォン 端子
ラインイン
ラインアウト
マイク
リセット
HOLD
スイッチ
DC IN 5.0Vポート
USBポート(2.0/デバイス)
USBポート(1.1/ホスト)

リモコン

HOLDスイッチ
前のトラックボタン
次のトラックボタン
イヤフォン接続ポート
ボリューム調節ボタン
電源オン/電源オフ/
再生/一時停止ボタン

LCD画面

[注]

・再生するファイル の種類によって次のように表示され ます。

MP3 ： MP3ファ イル

WMA ： WMAファ イル

OGG ： OGGファ イル

ASF ： ASFファ イル

IRM ： IRMファ イル

▶IRM(iRiver Rights Management)とは？
IRMとは、iriver社が設計したデ ジタル著 作権情報ファイルのことです。IRM技術は、iriver社を通じて提供 されるデジタルコンテンツが 無許可で使用さ れないように、著作権と 資産を保護します。

・以下のアイコンは、HOLD状態をあらわす場合 に表示されます。

B ：HOLD機能がプレーヤーとリモコンの両方でセットされている。

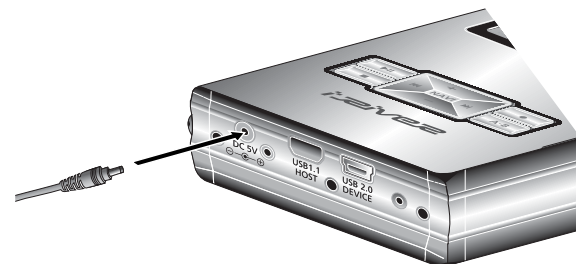
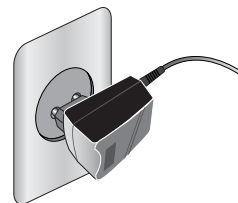
M ：HOLD機能がプレーヤーで セットされている。

R ：HOLD機能がリモコンでセットされている。

本製品の接続

電源の接続

アダプタの接続

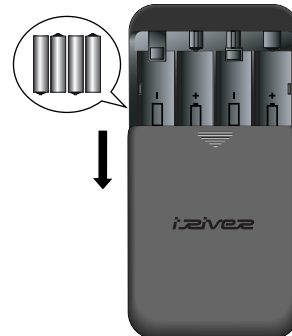
1 ACアダ プタをプレーヤーの5.0V DC コネクタに接続します。

2 ACアダ プタプラグをコンセントに接続します。
本製品のACアダプタは100~240 V、50~60 Hzに対応しています。

3 プレーヤーの電源がオフにされている時に電源を接続すると、右に示すメッセージがプレーヤーのLCD画面内に表示されます。充電中にボタンを押すと、プレーヤーが再生モードで始動します。

4 バッテリが完全に充電されると、充電は自動的に終了し、右に示すメッセージが表示されます。

・充電時間：3時間（バッテリが完全に放電された状態の場合）

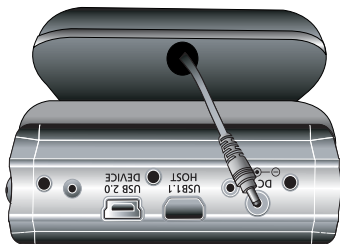
[注]
・プレーヤーの電源がオフにされている時に電源を接続すると、バッテリアイコン が表示されます。充電が終了すると、アイコンが、静止を示す に変わります。
・バッテリが完全に放電された状態であると、右に示すメッセージが プレーヤーのLCD画面に表示されます。

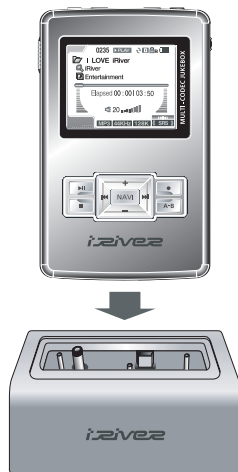
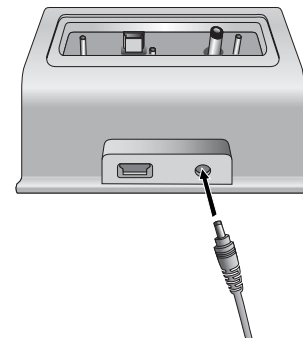
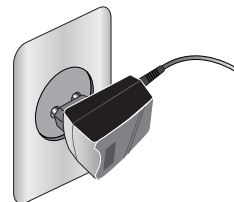
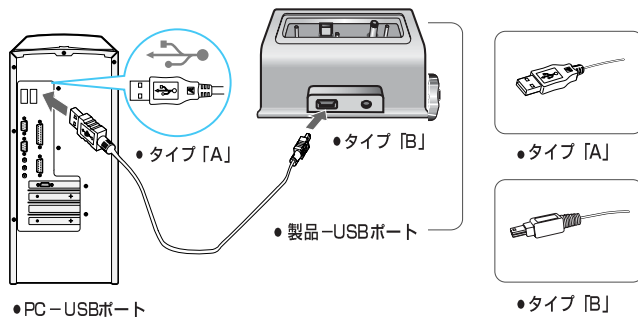
外部電池パックの接続

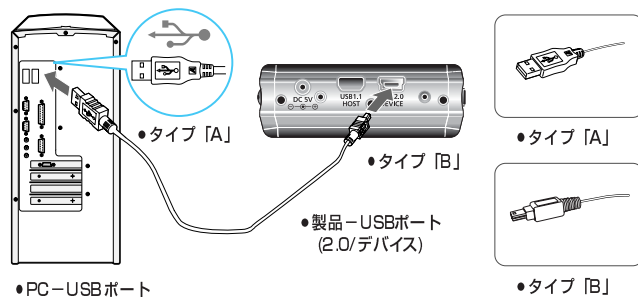
1 外部電池ケースのカバーを押して、カバーを開けます。

2 4本の単三電池を＋-の極性の位置に注意しながら挿入します。カバーをスライドさせ、元の位置に戻します。

3 外部電池ケースをねじって、UNLOCKの方向に合せます。H300を外部電池ケースのシステムスロットに挿入します。

4 外部電池ケースをねじって、LOCKの方向に合わせ、H300を固定します

5 ケースの下側にある外部電池ケースのケーブルをH300の5.0V DCコネクタに接続します。

クレードルの接続

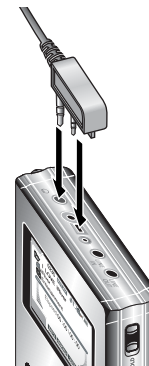
1 プレーヤーをクレードルに挿入します。

2 ACアダプタをクレードルの5.0V DC コネクタに接続します。

3 ACアダプタプラグをコンセントに接続します。

4 クレードル（H320は別売）をUSBケーブルでPCに接続します。

PCへの接続

1 USBケーブルでプレーヤーとPCを接続します。

2 電源がオンのUSBポートにプレーヤーを接続すると、バッテリが充電されます。▶II を押すと、充電中からPC接続モードに切り替わります。

[注]

・USB充電中に再生モードに切り替えると、バッテリは充電されません。
・メインメニュー内のControlメニューのUSB Chargingオプションがオフにセットされていると、プレーヤーがPCに接続されていてもバッテリは充電されません。

リモコン/イヤフォンの接続

1 リモコンをプレーヤーの最上部にあるリモコン端子に接続します。

2 イヤフォンをリモコンのイヤフォン接続ポートに接続します。

外部デバイスの接続

ラインイン

外部入力デバイスの接続

1 外部デバイスのラインアウト端子またはイヤフォン端子をラインイン/アウトケーブルを使ってプレーヤーのラインイン端子に接続します。

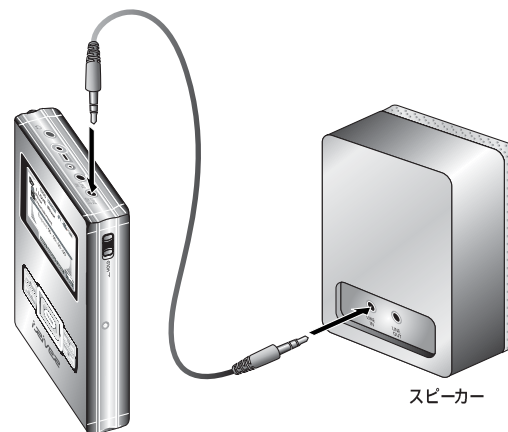
2 録音機能を使い、ご希望の設定をして録音します。詳しくは、44ページを参照してください。

[注]

・録音のために外部マイクを使用する場合は、外部マイクロフォンケーブルをラインイン端子に接続します。

ラインアウト

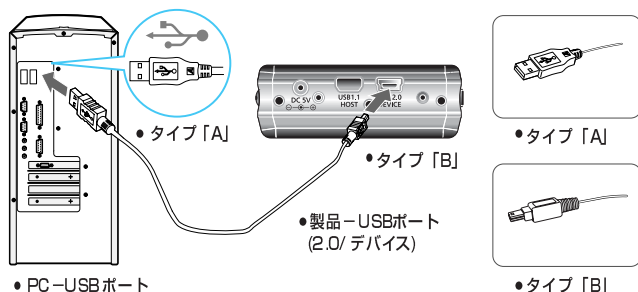
スピーカなどの外部デバイスを出力として使用

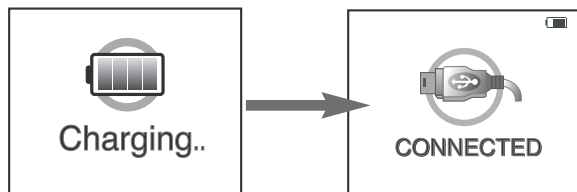
1 外部デバイスのラインイン端子を、ラインイン/アウトケーブルでプレーヤーのラインアウト端子に接続します。

2 ご希望の再生をします。詳しくは39ページを参照してください。

PCへの接続

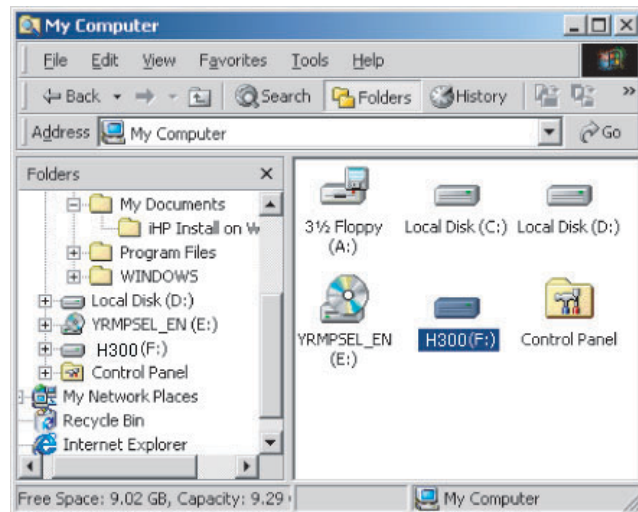
Windows ME、Windows 2000、Windows XP、Mac OS 9、およびMac OS 10の場合は、デバイスドライバのインストールは必要ありません。これらのシステム上では、プレーヤーは新しいドライブと認識され、デバイスドライバは必要ありません。

1 ボタンを押してプレーヤーの電源をオンにします。

2 同梱されているUSBケーブルを使って、プレーヤーをPCに接続します。

3 PCからのUSB充電が始まります。

ボタンを短く押して、USB充電状態からPCへの接続状態に切り替えます。

4 正常に接続されると、アイコンがタスクトレイ内に表示されます。

4 スタートボタンをクリックしてから、プログラム－> アクセサリ－> エクスプローラをクリックします。

5 新しいローカルディスクドライブが追加されたことを確認します。工場出荷時のデフォルトのドライブ名はH300です。

[重要]

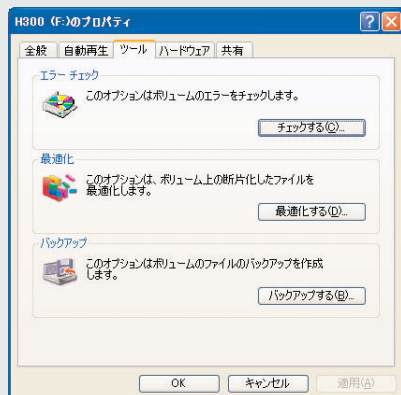
▶ データの転送中にPCの電源をオフにしたり、USBケーブルを切断したりすると、HDDエラーが発生する恐れがあります。場合によっては、"Total: 0000 Folder(s)" というエラーメッセージが表示されます。

[注]

・Windows 98 SEではH Managerをインストールする必要があります。デバイスドライバのインストールについては、31ページを参照してください。

・他に外部デバイスがPCに接続されている場合は、プレーヤーを接続しても、2番目のアイコンがタスクトレイに追加されません。
タスクトレイ のアイコンをチェックして、両方のデバイスについての情報を表示する必要があります。

・HDDエラーが検出された場合は、PCスキャンディスク機能を使ってエラーを訂正します。

☞ スキャンディスクを起動するには、
① WindowsエクスプローラでH300を選択し、マウスの右ボタンでクリックします。
② ポップアップウィンドウでプロパティをクリックします。
③ プロパティウィンドウでツールタブをクリックします。

④「エラー チェック」ボックスで「チェックする」ボタンをクリックします。

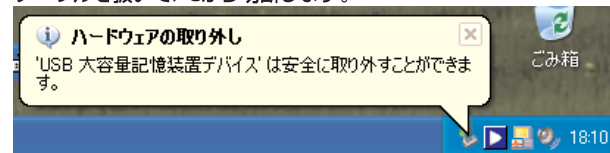
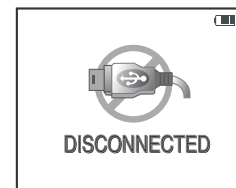
PCからの切断

1 タスクトレイ内の アイコンをクリックします。

17:35

2 次のポップアップメッセージをクリックします。

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (F:) を安全に取り外します

3 ハードウェアの安全な取り外しウィンドウの表示を確認してして、USBケーブルを抜いてPCから切断します。

次のメッセージが表示されます。

[注]

・Windows XPオペレーティングシステムの設定によっては、トレーのアイコンが隠れている場合があります。「隠れているインジケータを表示します」をクリックしてアイコンを表示してください。

・Windowsエクスプローラ やWindows Media Playerなど、いくつかのアプリケーションの使用中は、ハードウェア安全取外し機能が使用不能になることがあります。ハードウェア安全取外しプロセスを実行する前に、本製品を使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

・Windows XPオペレーティング システムの設定によっては、内部的システム通信上の何らかの原因でハードウェア安全取外し機能が一時的に使用不能になる場合があります。しばらく待ってから再試行してください。

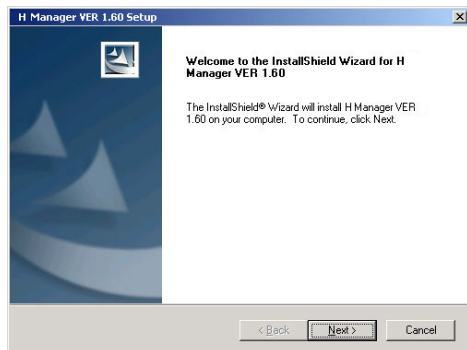
ソフトウェアのインストール

H Managerのインストール

[注]

・H Managerのインストールを行う時は、必ずプレーヤーをPCに接続せずにインストールを行ってください。

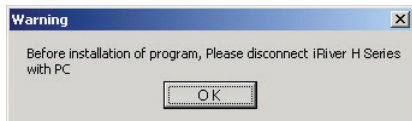
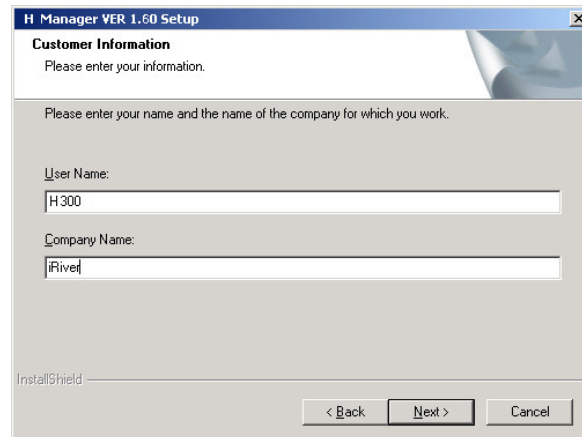
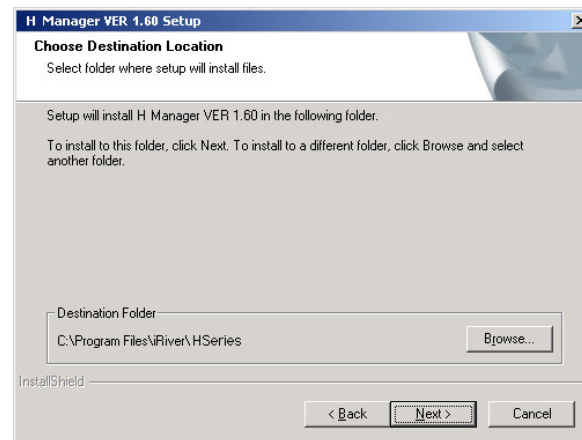
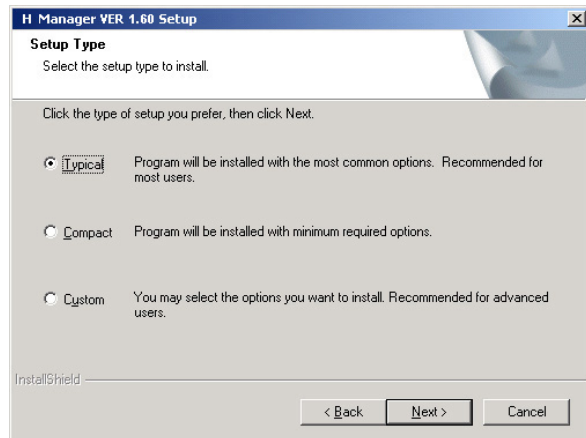
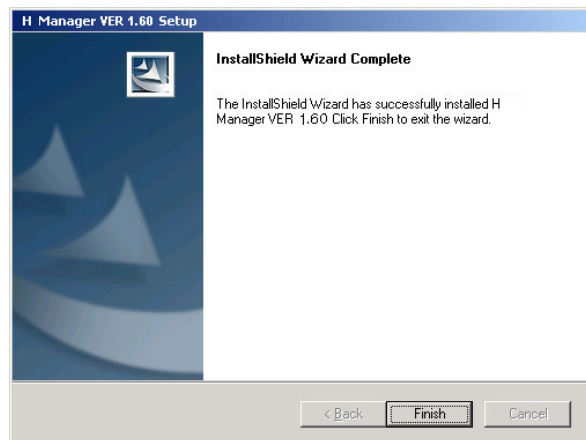
・以前のモデルのManagerプログラムがインストールされている場合は、先にそのManagerプログラムを削除してから、新しいManagerプログラムをインストールする必要があります。

1 プログラムインストールCDを挿入し、Hmanager¥Hmanager 1.60.exeファイルをダブルクリックします。次のインストール画面が表示されます。

2 インストール画面で「Next」ボタンをクリックします。

3 プレーヤーをPCから切断するよう指示するメッセージが表示されます。プレーヤーが接続状態になっている場合は、PCから切断して、「OK」ボタンを押します。プレーヤーがPCに接続されていなくても、このメッセージは表示されます。

Warning

Before installation of program, Please disconnect iRiver H Series with PC

OK

4 User NameとCompany Nameを入力して、「Next」ボタンをクリックします。

5 インストールフォルダを選択して、「Next」ボタンをクリックします。

6 インストールオプションをクリックして、「Next」ボタンをクリックします。通常は「Typical」を選択してください。

7 インストール完了画面が表示されたら、「Finish」ボタンをクリックします。

[注]

・インストール終了後にはコンピュータを再起動してください。

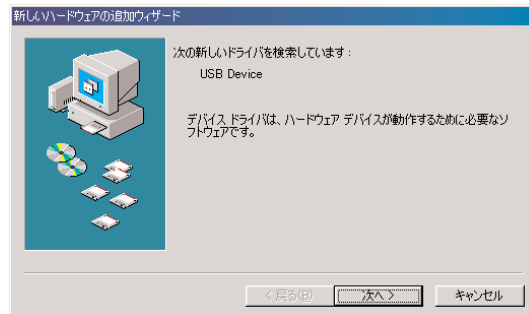
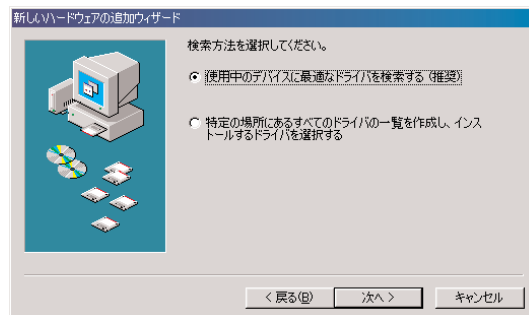
Windows 98 SEのデバイスドライバのインストール

Windows 98 SE専用のデバイスドライバは、他のオペレーティング システムでは不要です。
Windows ME、Windows 2000、Windows XP、およびMac OSを使用するコンピュータの場合は、このセクションの説明を無視してください。。

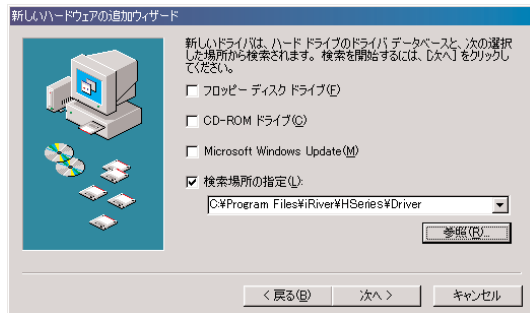
[注]

・デバイスドライバをインストールする前に、H Managerをインストールしておく必要があります。H Managerのインストールについては、28ページを参照してください。

1 同梱されているUSBケーブルを使って、プレーヤーをPCに接続します。

2 プレーヤーははじめてPCに接続すると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が開かれます。「次へ」ボタンをクリックします。

3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」をクリックしてから、「次へ」ボタンをクリックします。

4 「検索場所の指定」オプションをクリックして、「参照」ボタンをクリックします。

5 iRiver H.infファイル（C:¥Program Files¥iRiver¥H300¥driver）が入っているインストールフォルダを選択してから、「OK」ボタンをクリックします。

6 このフォルダが検出されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

7 「次へ」ボタンをクリックします。

8 「完了」ボタンをクリックして、インストールを終了します。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアはH300の内部オペレーティングシステムです。iriver社では、ファームウェアをアップグレードすることによってプレーヤーの改善を継続的にはかっていきます。

1 USBケーブルを使って、プレーヤーをPCに接続します。プレーヤーをPCに接続する手順については、24ページを参照してください。

2 当社のWebサイト(www.iriver.co.jp)から最新のファームウェアファイルをダウンロードします。

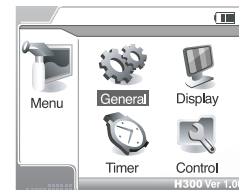
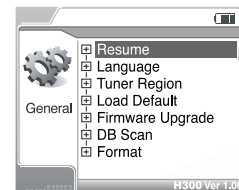
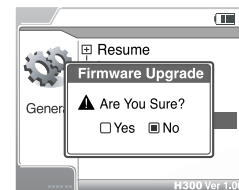
3 ダウンロードされたZipファイルからH300.hexファイルを圧縮解除します。

4 H300.hexファイルをH300ドライブの最上位フォルダにコピーします。

5 プレーヤーをコンピュータから切断します。
ACアダプタをプレーヤーに接続します。

[重要]

▶ ACアダプタを接続しないと、バッテリの残量不足によりファームウェア アップグレードが失敗する可能性があります。
▶ プレーヤーをUSBケーブルから切断してください。

6 NAVI ボタンを長押しして、Menu画面を開きます。

7 Menu画面の ＋/－ 、⏮ ⏭ ボタンを使ってGeneralオプション選択します。NAVI ボタンをクリックして、Generalサブメニュー画面を開きます。

8 ＋/－ 、⏮ ⏭ ボタンを使ってFirmware Upgrade項目を選択します。NAVI ボタンを押して、Firmware Upgrade画面を開きます。

[重要]

▶ ACアダプタを接続しないと、バッテリの残量不足によりファームウェア アップグレードが失敗する可能性があります。
▶ プレーヤーをUSBケーブルから切断してください。

9 Firmware Upgrade画面でYESを選択してから、NAVI ボタンで確定します。ファームウェアアップグレードが完了するまで、ACアダプタを切断したり、電源をオフにしたりしないようにしてください。

10 ファームウェア アップグレードが完了すると、プレーヤーの電源が自動的にオフになります。⏯ ボタンを押して電源をオンにします。

起動と実行

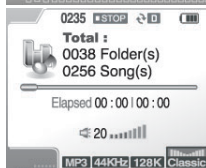
1 リモコンとイヤフォンをプレーヤーに接続します。

2 ボタンを押して電源をオンにします。

[注]

・プレーヤーから応答がない場合は、HOLDスイッチがオフになっていないかチェックしてください。HOLDスイッチがセットされていれば、右に示すメッセージがプレーヤーのLCD画面に表示されます。

3 初期化画面が表示されます。

4 再生スタンバイ画面が表示されます。

5 ボタンを使って音楽ファイルを再生します。再生中に別の音楽ファイルを再生するには、ボタンを使います。

[注]

・ボリュームを調節するには、ボタンを使います。
・再生を一時停止するには、ボタンをもう一度押します。
・再生を終了するには、ボタンを押します。再生スタンバイ画面が表示されます。
・電源をオフにするには、ボタンを長押しします。
・機能選択画面を開くには、ボタンを長押しします。
・必要とする機能を選択するには、機能選択画面の ボタンを使用します。
選択項目を確定してから選択した機能を実行するには、NAVI ボタンを押します。
・保存ファイルが多すぎる場合は、再生スタンバイ画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

ボタンの使用

プレーヤー

プレーヤーの各ボタンは、プレーヤーがオンになっている時のモード（録音、再生など）が基本となり、複数の機能を持っています。

項目	説　明
▶II	・電源がオフになっている場合にオンにします。 ・再生スタンバイ画面の音楽ファイルを再生します。 ・音楽ファイルの再生中に再生を一時停止させます。
■	・電源がオンになっている場合に、このボタンを長押しして電源をオフにします。 ・再生を停止します。 ・録音モードでの現在の録音を停止します。
●	・再生スタンバイ中または再生中に、リピートモードを変更します。 ・機能選択画面を開く場合に長押しします。 ・録音スタンバイ画面の録音を開始します。 ・録音中に録音を一時停止させます。
A-B	・再生スタンバイ中または再生中にEQ設定モードを開く場合に、このボタンを長押しします。 ・EQ設定モードでEQ/SRSを変更します。 ・再生中にセクションリピート機能にアクセスする場合に、このボタンを2回押します。詳しくは、59ページを参照してください。
NAVI	・再生中にナビゲーション画面を開きます。 ・再生スタンバイ中または再生中にMenu画面を開く場合にこのボタンを長押しします。
+	・再生スタンバイ中、再生中、またはラジオを聞いている時にボリュームを上げます。
−	・再生スタンバイ中、再生中、またはラジオを聞いている時にボリュームを下げます。
⏮	・再生中に前のタイトルを再生します。 ・再生中に巻戻しする場合に長押しします。 ・ボタンを押すと再生中または再生スタンバイが表示されます。表示中に長押しすると、前のフォルダが表示されます。 ・ラジオを聞いているときに前のチャンネルを選択します。
⏭	・再生中に次のタイトルを再生します。 ・再生中に早送りする場合にこのボタンを長押しします。 ・ボタンを押すと再生中または再生スタンバイが表示されます。表示中に長押しすると、次のフォルダが表示されます。 ・ラジオを聞いているときに次のチャンネルを選択します。

基本操作

リモコン

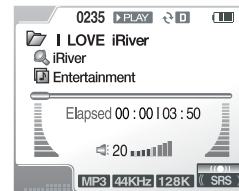
項目	説　　明
▶II	・電源がオフになっている場合にオンにします。 ・再生スタンバイ画面の音楽ファイルを再生します。 ・音楽ファイルの再生中に再生を一時停止します。 ・電源がオンになっている場合に、このボタンを長押しして、電源をオフにします。
⏮	・再生中に前のタイトルを再生します。 ・再生中に巻戻しする場合に長押しします。 ・ボタンを押すと再生中または再生スタンバイが表示されます。表示中に長押しすると、前のフォルダが表示されます。 ・ラジオを聞いているときに前のチャンネルを選択します。
⏭	・再生中に次のタイトルを再生します。 ・再生中に早送りする場合にこのボタンを長押しします。 ・ボタンを押すと再生中または再生スタンバイが表示されます。表示中に長押しすると、次のフォルダが表示されます。 ・ラジオを聞いているときに次のチャンネルを選択します。
+	・再生スタンバイ中、再生中、またはラジオを聞いているときにボリュームを上げます。
−	・再生スタンバイ中、再生中、またはラジオを聞いているときにボリュームを下げます。

音楽ファイルの再生

音楽の再生

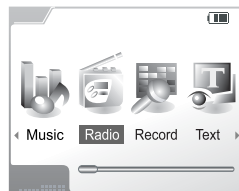
1 電源をオンにすると、初期化画面の後に再生スタンバイ画面が表示されます。フォルダ数、音楽ファイル数など、基本的な再生情報が表示されます。

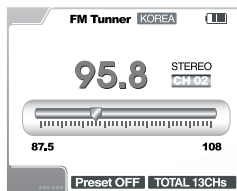
2 ▶II ボタンで再生を開始します。再生中に ⏮ ⏭ ボタンを使って、別のファイルを再生します。

[注]

・ボリュームを調節するには、+/− ボタンを使用します。
・再生を一時停止するには、▶II ボタンをもう一度押します。
・再生を終了させるには、■ ボタンを押します。再生スタンバイ画面が表示されます。
・再生中にタイトルを早送りまたは巻戻しするには、⏮ ⏭ ボタンを長押しします。
・前のフォルダに戻るか、または次のフォルダに進むには、⏮ ボタンまたは ⏭ ボタンを2回押してから長押しします。
・音楽ファイルの検索については、55ページを参照してください。
・リピートモードを変更するには、再生中に ● ボタンを押します。リピートモードの詳細については、58ページを参照してください。
・再生中にID3タグ情報が表示されます。
・サポートされているファイルは、MP3、OGG、WMA 、ASF、およびIRMのみです。
・音楽ファイルが損傷すると、損傷を受けたセクションがスキップされます。ファイルが重大な損傷を受けると、ファイルがスキップされます。

FMラジオを聞く

FMラジオを聞く

1 ボタンを長押しすると機能選択画面が表示されます。

2 ボタンを使ってRadioアイコンを選択してから、 NAVI ボタンを押してラジオ画面を開きます。

3 ボタンを押してチャンネルを選択します。 ボタンを長押しして自動的にチャンネルを検索します。周波数が検出されると、 ボタンまたは ボタンを再度押すまで、ラジオはその局に留まっています。

[注]

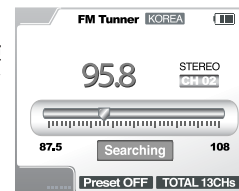
・Stereo/Monoの切り替えを行うには、 ボタンを押します。
・電波が弱い地域では、聞こえないチャンネルがあったり、受信が途切れがちになったりする場合があります。

FMラジオ周波数の検索

手動検索

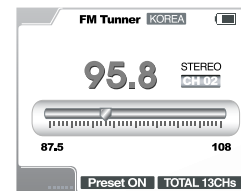
Preset OFFの状態でラジオ画面の ボタンを押して、周波数を0.1 MHzずつ変更します。お好みのチャンネルが見つかるまで押し続けてください。

自動検索

Preset OFFの状態で ボタンを長押しして、使用可能なチャンネルを自動的に検索します。お好みのチャンネルがスキャンされるまで、押したままにします。

[注]

・PresetがONの間は、自動検索機能と自動プリセット機能は働きません。
・手動検索の場合、 ボタンを使用すると、周波数が韓国、米国、および日本では0.1 MHzずつ、また欧州では0.05 MHzずつ変更されます。

プリセット機能

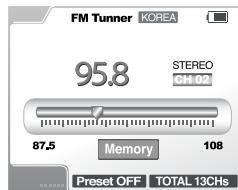
1 ラジオ画面の NAVI ボタンを押して、Preset onを設定します。

2 ボタンを押して次の/前のチャンネルを選択します。お好みのチャンネルが選択されるまで、再度 ボタンを使用します。

有効な機能

プリセット チャンネルの設定

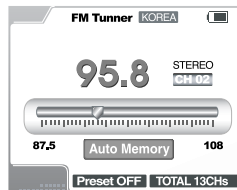
手動設定

1 ラジオ画面の NAVI ボタンを使ってPreset OFFを設定します。

2 ⏮ ⏭ ボタンを使ってお好みのチャンネルを選択してから、A-B ボタンを押して、このチャンネルを設定します。

3 ⏮ ⏭ ボタンを押してお好みのチャンネルの番号を選択します。A-B ボタンを押して設定します。プリセットされたチャンネルの番号が「TOTAL XXCHs」として表示されます。この保存内容をキャンセルするには、▶II ボタンを押します。最大20のチャンネルが設定できます。

自動プリセット

1 NAVI ボタンを使います。Preset をOFFに設定するためのチャンネルがラジオ画面に表示されます。

2 A-B ボタンを長押しすると、周波数が増えていきます。チャンネルが自動的にスキャンされPreset内に順に保存されます。

[注]

・電波が弱い地域では、保存されないチャンネルが生じる場合があります。

プリセットされたメモリの削除

1 ラジオ画面の NAVI ボタンを使ってPreset onを設定します。

2 PresetがONの間に ⏮ ⏭ ボタンを使って、削除するチャンネルを選択します。

3 A-B ボタンを長押ししてこのチャンネルを削除し、次のチャンネルを表示します。A-B ボタンをもう一度長押しして、次のチャンネルを削除します。

[注]

・プリセットされたチャンネルが全て削除されると、「TOTAL 00CHs」が表示され、NAVI ボタンを押しても、Preset ONモードに切り替わりません。

FMラジオ放送の録音

1 FMラジオを受信中に ● ボタンを押してラジオを録音します。

2 録音を一時停止するには、録音中に ● ボタンを押します。再び録音を開始するには、● ボタンを再度押します。

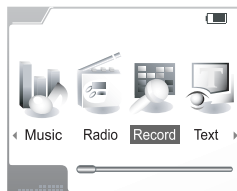
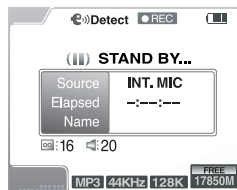
3 録音を終了するには、録音中 ■ ボタンを押します。

[注]

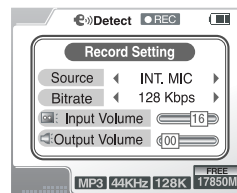
・録音中は、ボリューム制御機能が使用できません。
・録音ファイルは、「RECORD¥AUDIO¥TUNERXXX.MP3」として保存されます。
・録音ファイルを削除するには、「ファイルの削除」の項目を参照してください（51ページ）。

録音

録音する

1 ボタンを長押しして機能選択画面を開きます。

2 ボタンを使ってRecordアイコンを選択してから、NAVI ボタンを押して録音スタンバイ画面を開きます。

3 録音スタンバイ画面の A-B ボタンを押してRecord Setting画面を開きます。

4 ボタンで設定項目を選択し、ボタンで値を設定します。

Source：INT.MIC(内蔵マイク)、EXT.MIC(外部マイク)、LINE-IN(ラインイン)
Bitrate：ビットレート
Input Volume：入力ボリューム
Output Volume：出力ボリュームは、[メニュー]-[Record]-[Voice Monitor]で設定が[On]の時に調節が可能です。(初期設定では[Off]に設定されています。)

[注]

・録音用の各ソースのオプション（Bitrate/Input Volume/Output Volume）が保存されます。録音用の各Sourceオプションにプリセットされたオプションを変更することも可能です。
・ソースタイプ
LINE IN：外部デバイスからのアナログ信号
INT. MIC：内部マイクを使用した音声
EXT. MIC：外部マイクを使用した音声
・Bit rate
録音の品質（40～320Kbps。ただし、INT.MICの場合は、40～128Kbps)。
・Input Volume（0～20)
録音の音量。Input Volumeが高ければ、録音ファイルの音量が増加します。ただし、録音に歪みが生じる可能性があります。
・Output Volume（0～40)
本製品は録音されるサウンドのモニタリングをサポートしています。このオプションはモニタリングのボリュームを変更しますが、録音ファイルには影響しません。

5 NAVI ボタンを押してRecord Setting画面からRecording Standby画面に戻ります。

6 ボタンを押してMP3録音を開始します。

[注]

・録音中は、ボリューム調節機能を使用できません。
・最良の結果を得るために、各録音設定で様々なボリューム設定やマイク距離をとってテストしてください。

7 ボタンを押して録音を終了します。録音スタンバイ画面が表示されます。

[注]

- 新規ファイルに録音するには、スタンバイモードでもう一 ボタンを押します。
- 録音を一時停止するには、録音中に ボタンを押します。
  録音を再開した場合、新規ファイルは作成されません。
- 以下の状態にある場合は、録音が自動的に停止します。
  - 十分な録音スペースがない。
  - 録音されたMP3ファイルのサイズが200MBを超えている。
  - 録音時間が5時間を超えた（バッテリ不足）。

録音したファイルを再生する

録音スタンバイモードで ボタンを押して、録音したファイルを再生します。

[注]

- 録音したファイルは、使用したソースに応じて、以下の場所に保存されます。
  Line In: RECORD¥AUDIO¥AUDIOXXX.MP3
  TUNER: RECORD¥AUDIO¥TUNERXXX.MP3
  INT/ EXT MIC: RECORD¥VOICE¥VOICEXXX.MP3
- 再生を一時停止するには、 ボタンを押します。再生を再開するには、もう一度 ボタンを押します。
- 録音ファイルを削除するには、「ファイルの削除」の項目を参照してください（51ページ）。

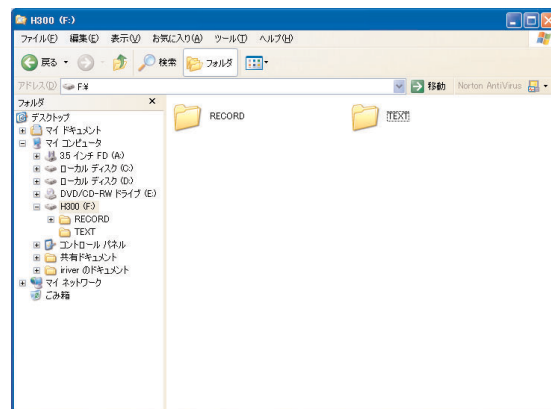
テキスト機能の使用

テキストファイルの保存

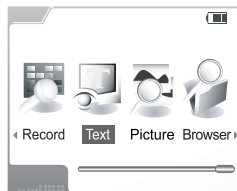
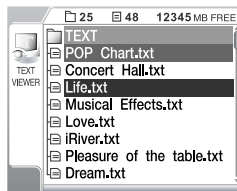
書籍のセクション、アドレス、電話番号などの役立つ機能を含め、どのようなテキストでもテキストファイルに入れることができます。

1 USBケーブルを使って、プレーヤーをPCに接続します。接続が正常に完了すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。詳しくは24ページを参照してください。

2 スタート -> プログラム -> アクセサリ -> エクスプローラをクリックします。

3 WindowsエクスプローラでTEXTという名前のフォルダをH300ドライブ内に作成します。

4 .txtファイルをTEXTフォルダに格納します。

テキストの表示

1 再生スタンバイモードまたはラジオ画面で ボタンを長押しして、機能選択画面を開きます。

2 ボタンを使ってTextアイコンを選択してから、NAVI ボタンを押してText画面を開きます。ツリー構造のファイルリストを調べます。

3 ボタンを使って、必要なフォルダまたはファイルを選び、NAVI ボタンを押して選択します。LCD画面に表示されたテキストファイルを見ます。

iRiver was established in 1999 by Reigncom Ltd to become a force in the digital entertainment industry. By offering products that are cutting-edge while customer-friendly, we are poised to become the leader in the digital arena. From our award-winning iMP-350 SlimX* to our new line of products, iRiver is emerging as the technically superior standard

[注]

・テキスト機能を終了させるには、 ボタンを押します。
・画面上に表示可能な最大文字数は、英語： 1行当たり26文字で10行。
・LCDリモコン(別売)にはテキストは表示されません。
・MP3ファイルの再生中におけるテキスト読み取り機能がサポートされています。
・MP3モード(ホットキー)に切り替えるには、テキストの読み取り中にRECボタンを押します。

テキストのブラウジング

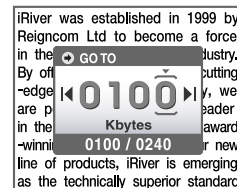
通常のブラウジング

1 テキストの読み取り中に ボタンを押して前/次行までブラウズします。

2 テキストの読み取り中に ボタンを押して前/次ページまでブラウズします。

GO TOブラウジング

1 テキスト ファイルの読み取り中に NAVI ボタンを押して、お望みの場所まで移行します。

2 ボタンを使って場所を選択します。

3 ボタンを押して数値を選択します。

4 NAVI ボタンを押して、新しい場所に移行します。

[注]

・数値の単位はキロバイト(KB)です。

イメージの表示

H300はJPGイメージとBMPイメージをLCD画面に表示できます。

イメージの表示

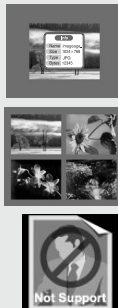
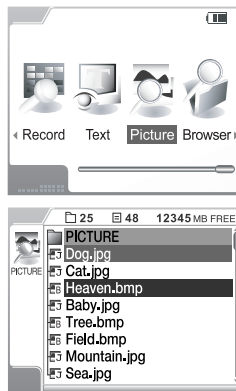
1 ボタンを長押しして機能選択画面を開きます。

2 ボタンを使ってPICTUREアイコンを選択してから、NAVI ボタンを押してPICTURE画面を開きます。

3 ファイルのリストが表示されます。ボタンを使って表示したいファイルを選択し、NAVI を押して表示します。

4 ファイルを選択した場合は、イメージが画面に表示されます。フォルダを選択した場合は、フォルダ内の各ファイルが表示されます。このステップを繰り返して、ご希望のイメージを開きます。ボタンを使って、前のイメージまたは次のイメージを表示します。

[注]

- NAVI ボタンを長押しして、現在のイメージ情報を表示します。ボタンを押して、イメージ情報表示画面を終了します。
- 複数のイメージを表示するには、A-B ボタンを押します。
- イメージ ファイルのサイズが大きい場合は、PICTURE機能がサポートされません。(BMP: 3MBを超える場合、JPG: 1MBを超える場合。ただし、JPGファイルのサムネイルサイズが1MB未満であれば、サイズにかかわらず、画面に表示されます。)
- Progressive JPG ファイルに対するPICTURE機能はサポートされません。
- Progressive JPGとは？
  Progressive JPGは、徐々にフォーカスが強くなるように表示される、JPGイメージの1つです。つまり、イメージがフル画面に低解像度で表示され、段々とクリアーかつシャープになってきます。

ブラウザ機能の使用

ファイルの削除

プレーヤーに保存している音楽/テキスト/イメージファイル、FM録音ファイル、音声録音ファイルを削除するにはBrowser機能を使用します。フォルダごと削除することもできます。

1 ボタンを長押しして、機能選択画面を開きます。

2 ボタンを使ってBrowserアイコンを選択し、NAVI ボタンを押してBrowser画面を開きます。

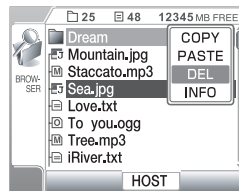
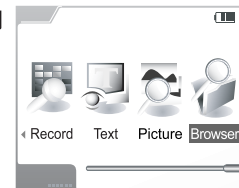
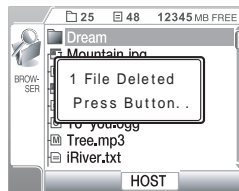
3 削除したいファイルまたはフォルダを選択します。

[重要]

▶ サブフォルダを含むフォルダは削除できません。まず、サブフォルダを削除してください。

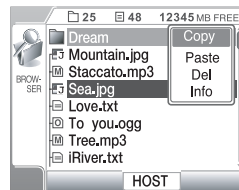
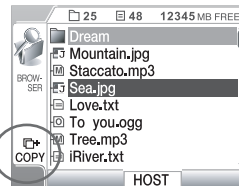
4 A-B ボタンを短く押してポップアップメニュー表示します。「DEL」を選択し、NAVI ボタンを押します。

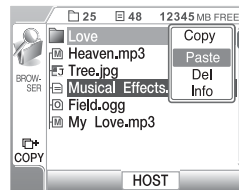
5 確認画面が表示されます。削除を実行するには NAVI ボタンを押します。削除を中止するには、ボタンを押します。

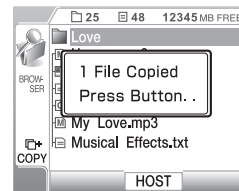
有効な機能

6 いずれかのボタンを押して、削除完了画面を閉じます。

ファイルの移動(コピーとペースト)

ファイルをコピーして別の場所にペースト(貼り付け)するという方法でファイルの移動ができます。コピーした元のファイルは前の項目を参照して削除してください。

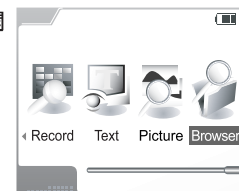
1 コピーしたいファイルまたはフォルダを選択します。

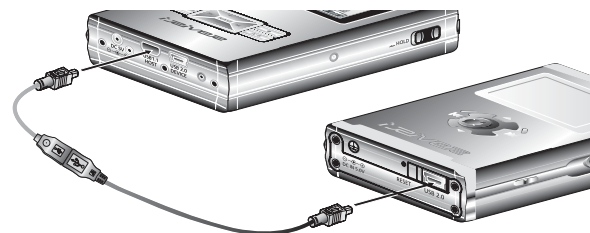
A-B ボタンを短く押してポップアップメニューを表示します。「COPY」を選択し、NAVI ボタンを押します。

2 画面右下にコピーアイコンが表示されます。

3 ペーストするフォルダ内に移動します。

A-B ボタンを短く押してポップアップメニューを表示します。「PASTE」を選択し、NAVI ボタンを押します。

4 確認画面が表示されます。ペーストを実行するには NAVI ボタンを押します。ペーストを中止するには、■ ボタンを押します。

5 いずれかのボタンを押してコピー完了画面を閉じます。

外部USBデバイスとデータをやり取りする

Browser機能を使い、USBの直接接続で、サポートされているデバイスとの間でデータを取り交わします。ブラウザを使用すると、デジタル カメラなどの外部デバイスに接続して作業を行えます。

1 ● ボタンを長押しして、機能選択画面を開きます。

2 ⏮ ⏭ ボタンを使ってBrowserアイコンを選択し、NAVI ボタンを押してBrowser画面を開きます。

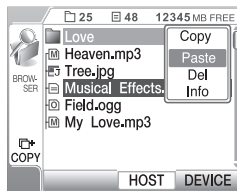
3 HOSTケーブルを使ってH300を外部デバイスに接続します。

4 プレーヤー上のファイルがBrowser画面に表示されます。この外部デバイスはDEVICEとして登録されます。レスポンス時間は外部デバイスのメモリーサイズやタイプによって異なります。

5 A-B ボタンを長押しして、DEVICEを選択します。外部デバイス上のファイルが表示されます。

6 ご希望のファイルを選択し、A-B ボタンを押してポップアップ メニュー ウィンドウを開きます。

7 ＋ − ボタンを使ってCopyを選択し、NAVI ボタンを押してファイルをコピーします。

8 A-B ボタンを長押ししてHOSTを選択します。

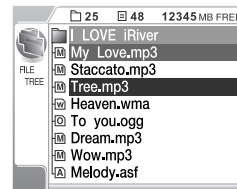
9 ご希望の場所を選択し、A-B ボタンを押してポップアップ メニュー ウィンドウを開きます。

10 ＋ − ボタンを押してPasteを選択し、NAVI ボタンを押してファイルを貼り付けます。

[注]

- 1回にコピーできるファイルまたはフォルダは1つだけです。フォルダをコピーすると、そのフォルダ内の全てのファイルが一緒にコピーされます。ただし、サブフォルダが存在する場合、そのサブフォルダはコピーされません。
- 本製品から外部デバイスにデータを移動する場合にも同じ方法を使います。
- ポップアップメニューでDelを選択すれば、そのファイルまたはフォルダを削除できます。ただし、フォルダがサブフォルダを含む場合、そのフォルダは削除されません。
- ファイルの名前、サイズ、および保存に要した時間を表示するには、ポップアップメニューからInfoを選択します。
- Browser画面に表示可能な最大フォルダ数は500、最大ファイル数は1,000です。

音楽の検索

ファイルツリーを使用したナビゲーション

1 再生スタンバイ中または再生中に NAVI ボタンを押すと、現在のタイトルが選択されたタイトルリストが表示されます。

2 ＋ − ボタンを使って、再生するフォルダまたはタイトルを選択します。

3 再度 NAVI ボタンを押して、選択したフォルダを開くか、あるいは選択したタイトルを再生します。

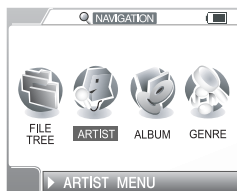
[注]

- フォルダを選択した場合は、ステップ2、3を繰り返し、再生したいタイトルを選択します。
- 親フォルダまたは前の状態に戻るには、⏮ ⏭ ボタンを押します。
- 各フォルダ内のファイルはアルファベット順に並んでいます。
- 再生されたファイルのタイプに応じて以下のメッセージが表示されます。
  - M MP3ファイル
  - O OGGファイル
  - I IRMファイル
  - W WMAファイル
  - A ASFファイル
- IRM(iRiver Rights Management)とは？
  IRMとは、iriver社が設計したデジタル著作権情報ファイルのことです。IRM技術は、iriver社を通じて提供されるデジタルコンテンツが無許可で使用されないように、著作権と資産を保護します。
- Navigation画面に表示可能なフォルダの最大数は2,000で、ファイルの最大数は9,999です。

有効な機能

音楽情報(ID3タグ)を使用したナビゲーション

ナビゲーション機能を使用すると、音楽ファイルをファイル名やMP3音楽情報(ID3タグ)で検索できます。情報ファイル(iRivNavi.iDB)が損傷しているか、または削除されているか、あるいはGeneralメニューのDB ScanがNoに設定されている場合は、ファイルツリーを使用したナビゲーションが使えます。DB Scanの構成については、69ページを参照してください。
音楽情報ファイルの管理方法については、63ページを参照してください。

1 NAVI ボタンを押して検索方式ダイアログ画面を開きます。

2 ⏮ ⏭ ボタンを押して、ご希望の検索方式を選択します。NAVI ボタンを押して検索画面を開きます。ファイル、アーチスト、アルバム、およびジャンルがオプションとしてサポートされています。

3 選択した検索画面で、+ − ボタンを使って、お好みのフォルダまたはタイトル(検索条件)を選択してから、NAVI ボタンを押して確定します。

4 選択したサブ画面が開かれます。この選択についてこれ以外のサブ画面がなければ、選択したタイトルが再生されます。

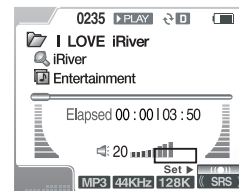
[注]

- 選択するサブ画面が他にもある場合は、ステップ# と$ を繰り返します。
- 前の画面に戻るには、サブナビゲーション画面の ⏮ ボタンを押します。
- Select Allオプションを選択すると、設定された条件を満たす全てのタイトルが再生され、L アイコンが表示されます。再生の停止中に ■ ボタンを押すと、Listモード(選択したタイトルリストの繰り返し)がキャンセルされます。
- ID3 Tag Navigation機能を使用する場合は、フォルダ名とファイル名の文字数を半角52文字以下にする必要があります。
- ID3 Tag Navigation機能では、英語などの標準文字セットを使用するようにしてください。特殊文字を使用する場合は、以下の文字に限定してください。

・,¨,,,±,×,÷,°,§,´,¸,¡,¿,¤,,,Æ,Đ,ª,Ø,º,Þ,½,¼,¾,æ,
ə,ø,ß,þ,¹,²,³,đ,ħ,ı,ij,ĸ,ŀ,ł,ŧ,ŋ,ŉ,œ,Œ,Ŧ,
Ŋ,Ħ,IJ,Ŀ,Ł,〈,〉,《,》,「,」,『,』,【,】,═,〔,〕,‥,‖,～,≠,≤,≥,∞,∴,
♂,♀,≡,≒,※,☆,★,○,●,◎,◇,◆,□,■,△,▲,▽,▼,→,←,↑,↓,↔,
≪,≫,∵,∫,∬,∮,∑,∏,◁,◀,▷,▶,♤,♠,♡,♥,♧,♣,‥,◈,▣,◐,◑,
▒,▤,▥,▨,▧,▦,▩,♨,☏,☎,☜,☞,↕,↗,↙,↖,↘,♩,♪,♬,㉿,㈜,
Co.,a.m.,p.m.,Tel,ⅰ,ⅱ,ⅲ,ⅳ,ⅴ,ⅵ,ⅶ,ⅷ,ⅸ,ⅹ,Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ,Ⅴ,Ⅵ,Ⅶ,Ⅷ,Ⅸ,
Ⅹ,─,│,┌,┐,┘,└,├,┬,┤,┴,┼,ⓐ,ⓑ,ⓒ,ⓓ,ⓔ,ⓕ,ⓖ,ⓗ,ⓘ,ⓙ,ⓚ,
ⓛ,ⓜ,ⓝ,ⓞ,ⓟ,ⓠ,ⓡ,ⓢ,ⓣ,ⓤ,ⓥ,ⓦ,ⓧ,ⓨ,ⓩ,①,②,③,④,⑤,⑥,⑦,⑧,
⑨,⑩,⑪,⑫,⑬,⑭,⑮

EQ / SRS

EQ / SRS

1 A-B ボタンを長押ししてEQ Settingモードを開きます。**Set ▶** アイコンがLCD画面に表示されます。

2 EQ Settingモードで A-B ボタンを押してEQ設定を変更します。
以下のEQ設定が使用可能です。
Normal → Rock → Jazz → Classic → U.Bass → User EQ → SRS → TruBass → WOW(PRESET) → WOW (USER)

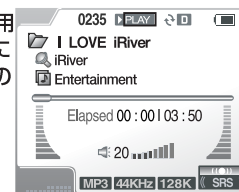
[注]

- アイドル状態のままにしておくと、EQ Settingモードは前のモード(A-Bセクションリピートモード)に自動的に戻ります。
- Normal、Rock、Jazz、Classic、U.Bass、およびUser EQは、EQの場合にサポートされているものです。
- SRS、TruBass、WOW(PRESET)、およびWOW(USER)は、SRSの場合にサポートされているものです。
- SRSの構成に関する詳細については、78ページ、「5．メニューの構成」の「7．サウンド」を参照してください。
- WOW(PRESET)は、SRS、TruBass、およびFocusの、事前定義された構成の下で機能します。
- WOW(USER)は、SRS、TruBass、およびFocusの、ユーザー定義された構成の下で機能します。
- Bass Boost および Treble Boostに設定されている値がUSER EQに適用されます。
- Bass BoostまたはTreble Boostが設定されていると、EQが自動的にUSER EQに設定されます。

再生モードの設定

Repeat Play/Random Play/Intro Play

様々な再生モードがサポートされています。再生モードを使用するには、Repeat Play/Random Play/Intro Play構成を設定します。詳しくは、75ページを参照してください。

1 Repeat Play/Random Play/Intro Playを使用するには、● ボタンを押します。次のモードに移るには、再度 ● ボタンを押します。現在のモードを示すアイコンが表示されます。

2 各モードは、下記のサイクルにしたがって変更されます。
Not Set → 1 Song Only → Directory → Directory All → All Songs → Shuffle → 1 Song Only → Directory → Directory All → All Songs → INTRO

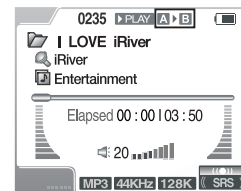
[注]

● ボタンを押した時に再生モードアイコンが表示されない 場合は、Menu画面でRepeat Play/Random Play/Intro Play 機能を選択したかどうかを確認してください。

セクションリピート

現在のファイルの一部分を繰り返し再生します。

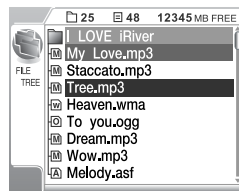
1 A-B ボタンを押して、リピートするセクションの開始点を選択します。
A▸ アイコンが画面に表示されます。

2 再度 A-B ボタンを押して、リピートするセクションの終点を選択します。選択したセクションが繰り返し再生されます。

[注]

- セクションリピートを終了するには、再度 A-B ボタンを押します。

再生予約

次に再生したい曲目を再生予約に入れることができます。

1 再生中に NAVI ボタンを押してNavigation画面を表示します。

2 Navigation画面の ＋／－ ボタンまたは ⏮ ⏭ ボタンを使って、再生する音楽タイトルを選択します。

3 A-B ボタンを使って、選択したタイトルを予約します。予約したタイトルは、現在の音楽タイトルの完了後に表示されます。

Studyモード

再生中に設定された時間だけスキップします。

1 ModeメニューでStudyモードを設定します。Studyモードの設定については、77ページを参照してください。

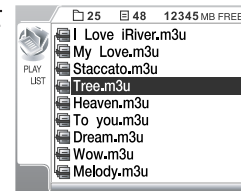
2 再生中に ⏮ ⏭ ボタンを押して、設定された時間だけ前方向または後方向にスキップします。

[注]

・77ページに示す方法でstudyモードにおけるSkip時間を設定してください。

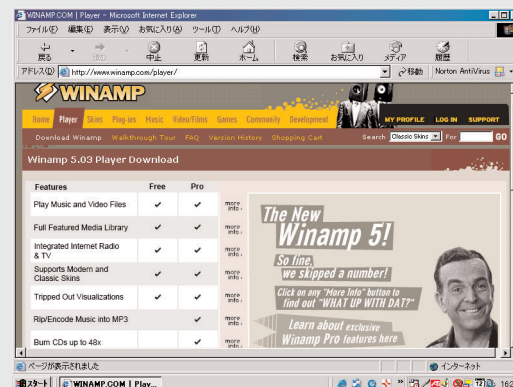
PLAYLIST

H300はM3Uプレイリストをサポートしています。このセクションでは、このリストの作成の仕方について説明します。

1 再生スタンバイ画面の A-B ボタンを押してPLAYLISTを表示します

2 ＋／－ ボタンと ⏮ ⏭ ボタンを使ってPLAYLIST画面内のプレイリストを１つ選択します。

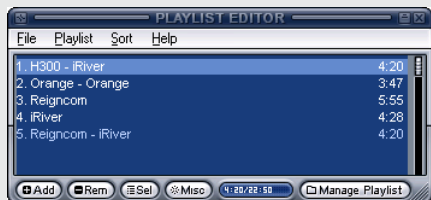
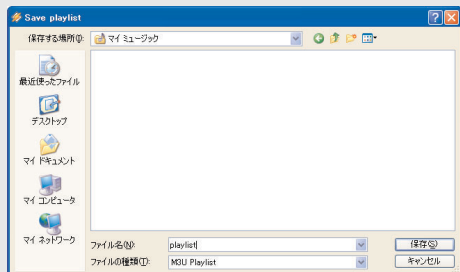
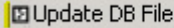
3 NAVI ボタンか ⏯ ボタンを押して、選択したプレイリストを再生します。

[注]

・最大200のリストがサポートされています。
・PLAYLISTの作成の仕方(Winampのバージョンにより異なります。この例ではWinamp 5です。)
① PLAYLISTを作成するには、Winampソフトウェアを使用します。Winampは無料のソフトウェアで、http://www.winamp.com/playerからダウンロードすることで入手できます。

② ダウンロードしたファイルをクリックして、インストールします。
③ インストールが完了したら、スタート -> プログラム -> Winamp -> Winampをクリックして、Winampソフトウェアを始動します。

有効な機能

[注]

④ WinampウィンドウのPLボタンをクリックして、Playlist Editorウィンドウを開きます。
⑤ Playlist EditorウィンドウのAddボタンをクリックして、追加するファイルまたはフォルダを選択します。
⑥ 選択したファイルが追加され、表示されたら、Manage Playlistをクリックしてから、次のポップメニューでSave Playlistボタンをクリックします。

⑦ Save Playlistダイアログにファイル名を入力します。保存ボタンをクリックして*.m3uファイルを作成します。

音楽情報ファイルの管理

音楽情報ファイルの更新

現在のMP3ファイルの音楽情報ファイルを更新します。情報ファイルが削除されたり、損傷したりした場合は、この機能を使ってデータベースファイル(iRivNavi.iDB)を作成または修復します。

[注]

・音楽情報ファイルとは？
音楽情報ファイルはデータベースファイルの1つ（iRivNavi.iDB）で、ID3タグ情報の集まりです。音楽情報ファイルは、ID3タグナビゲーション機能に必要なファイルです。

1 USBケーブルを使ってプレーヤーをPCに接続します。接続が正常に完了すると、アイコンが表示されます。詳しくは、24ページを参照してください。

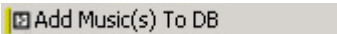
2 スタート → プログラム → アクセサリ → エクスプローラをクリックします。

3 WindowsエクスプローラでH300を選択し、マウスの右ボタンでクリックします。

4 ポップアップ メニューのUpdate DB Fileオプションをクリックして音楽情報ファイルを更新します。

Update DB File

5 更新が終ったら、OKボタンをクリックします。

6 USBケーブルを安全に取り外し、プレーヤーをPCから切断します。詳しくは27ページを参照してください。

[注]

・画面に「NO DB」のメッセージが表示された場合は、MP3ファイル内にID3タグ情報が存在しないことを意味します。
・画面に「Failure」のメッセージが表示された場合は、ファイル名またはフォルダ名が52文字を超えていることを意味します。

音楽情報ファイルの追加

MP3ファイルのID3タグ情報をデータベースファイル(iRivNavi.iDB)に追加します。

1 USBケーブルを使ってプレーヤーをPCに接続します。接続が正常に行われると、タスクトレイにアイコンが表示されます。詳しくは、24ページを参照してください。

2 スタート -> プログラム -> アクセサリ -> エクスプローラをクリックします。

3 Windowsエクスプローラで新たに追加されたファイルを選択して、マウスの右ボタンでクリックします。

4 ポップアップメニューのAdd Music(s) to DBオプションをクリックし、情報をデータベース(iRivNavi.iDB)に追加します。データベースファイル(iRivNavi.iDB)が存在しない場合は、情報ファイルが1つ作成されます。

5 更新が完了したらOKボタンをクリックします。

Add Music(s) To DB

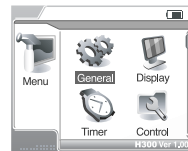
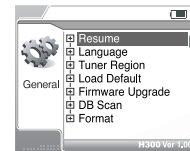
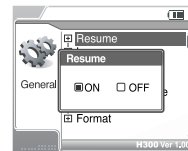
6 USBケーブルを安全に取り外し、プレーヤーをPCから切断します。詳しくは、27ページを参照してください。

[注]

・新規のファイルをH300にコピーした際に、ファイルを一切削除しない場合は、このページの追加機能を使用してください。これにより、データベースに迅速に新しい曲目を追加でき、また全ての曲目の索引を再作成する必要がありません。
・プレーヤー上の曲目を削除、名前の変更、または別のフォルダに移動した場合は、前ページの音楽情報ファイルの更新を行って、データベースを最新の状態に維持する必要があります。最新の状態でない場合、Artist、Title、Album、Genreによる検索機能を使用した場合に、再生できない曲目が生じます。

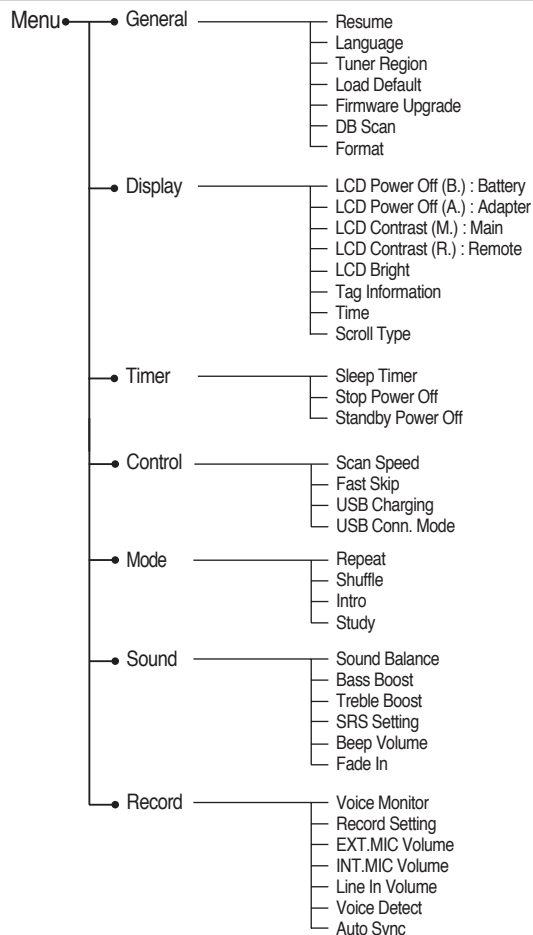
メニュー画面のオープン

メニュー構成を使って各機能の詳細オプションをセットアップします。

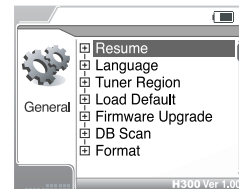
再生スタンバイ画面またはラジオ画面の NAVI ボタンを長押しして、メニュー画面を開きます。
メニューには、オプションごとに7つのメインオプションとサブメニューがあり、製品のカスタマイズが可能です。

メインメニュー

サブメニュー

サブメニューの設定

[注]

・ファームウェアの新しいバージョンでは、メニューが変更される場合があります。
・詳細メニュー機能は、ファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。

メニューマップ

* ファームウェアのバージョンによりメニュー構成は異なります。

General

1 メニュー画面の +/− 、⏮ ⏭ ボタンを使ってGeneralを選択します。NAVI ボタンを押してGeneralサブメニュー画面を開きます。

2 サブメニューの +/− 、⏮ ⏭ ボタンを押して項目を選択します。NAVI ボタンを押してサブメニュー構成画面を開きます。

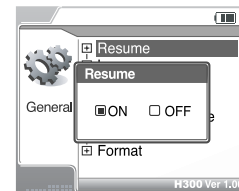
[注]

・サブメニュー画面を終了するには、■ ボタンを押すか NAVI ボタンを長押しします。

Resume

メニュー画面の +/− 、⏮ ⏭ ボタンを使ってGeneralを選択します。NAVI ボタンを押してGeneralサブメニュー画面を開きます。

ON: プレーヤーが停止されたり、プレーヤーの電源がオフにされた際の同じ場所から再生が開始されます。

OFF: 再生は、デバイス上の最初の曲目から開始されます。

Language

タイトル、フォルダ名、およびテキストファイルのために適切な言語表示を設定します。例えば、タイトル、フォルダ名、およびテキスト ファイルがドイツ語で作成されている場合は、ドイツ語オプションを使って、ドイツ語で情報を表示するようにします。合計38の言語がサポートされています。+/− 、⏮ ⏭ ボタンを使って言語を選択し、NAVI ボタンを押して確定します。

[注]

・タイトル、フォルダ、およびテキスト ファイル用の言語は、ファイルが作成された環境に影響されます。ファイルが韓国語板のWindowsで作成されたものであれば、韓国語を選択する必要があります。日本語版のWindowsで作成されたものであれば、日本語を選択する必要があります。

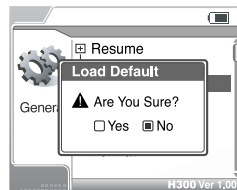
・タイトル、フォルダ名、およびテキスト ファイルがUnicodeで作成されたものであれば、言語設定にかかわらず、常に適切に表示されます。

Tuner Region

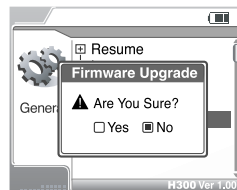
FMラジオの周波数とステップを選択します。通常の受信には、適切な構成が必要です。韓国、日本、ヨーロッパ、および米国がサポートされています。
+/– 、⏮ ⏭ ボタンを使ってチューナー区域を選択し、NAVI ボタンを押して確定します。

[注]
・チューナー区域を変更すると、前の事前設定チャンネルが全て削除されます。

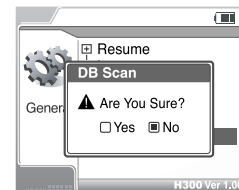
Load Default

全ての構成値を工場出荷時のデフォルト値に設定します(Yesを選択した場合)。工場出荷時のデフォルトに合わせて初期化した場合、ユーザーが設定した全てのデータは削除されるので、注意してください。+/– 、⏮ ⏭ ボタンを押して、Yesを選択します。NAVI ボタンを押して、初期化を開始します。
・初期化をキャンセルするには、Noを選択します。

[注]
・アップグレードされたファームウェアが旧バージョンに戻ることはありません。

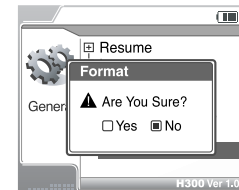
Firmware Upgrade

現在のファームウェアをアップグレードします。詳しくは34ページを参照してください。

[注]
・ファームウェアをアップグレードした後でプレーヤーの電源をオフにした場合は、Playボタンを押して、プレーヤーの電源をオンにします。

DB Scan

保存されている音楽ファイル内のID3タグ音楽情報をタイトルナビゲーションで使用します(Yesを選択した場合)。
+/– 、⏮ ⏭ ボタンを使ってYesまたはNoを選択し、NAVI ボタンで確定します。

[注]
・このオプションをYesに設定すると、保存されているファイルの数に応じて、多少ロード時間が余分にかかります。
・タイトルの再生中にこのオプションを「Yes」に変更すると、このタイトルが一時停止します。

Format

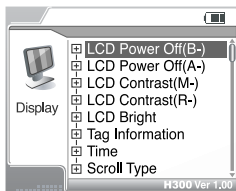
ハード ディスク ドライブをフォーマット設定します(Yesを選択した場合)。+/– 、⏮ ⏭ ボタンを使ってYesを選択し、NAVI ボタンを押してフォーマット設定を開始します。フォーマット設定をキャンセルするには、Noを選択します。フォーマットによってプレーヤーの全てのコンテンツが消去されます。

PCからのフォーマット設定

- Windows 2000およびWindows XPは、サイズが32GBを超えるディスクのフォーマットはできません。H300をフォーマットする場合は、Windows 2000およびWindows XPのフォーマットユーティリティを使用しないでください。
  H300をNTFSファイルシステム（Windows 2000、Windows XP）に合わせてフォーマットしないでください。NTFSとしてフォーマットすると、プレーヤーが機能しません。
- Windows 98 SEとWindows MEは32GBを超えるドライブをフォーマットできます。
- Windows 2000またはXPでハードディスクに対して32 GBを超えるフォーマット設定を行うには、サードパーティのハードディスクドライブ管理ソフトウェアを使用します。

[注] Macintoshの場合
・Macintoshでフォーマットしないでください。
・プレーヤー本体でフォーマットしないでください。MacintoshPCでプレーヤーを認識できなくなります。

[重要]
・フォーマットの際にはACアダプタを使用し、フォーマット中はACアダプタを切断しないようにしてください。バッテリ残存量が十分でない場合、電源障害など、重大な問題が生じる恐れがあります。
・H300をフォーマット設定すると、H300上の全てのデータは削除されます。
・メニューで提供されるフォーマット設定機能は、H300を1つの区画としてフォーマット設定します。

Display

1 Displayオプションを選択するには、メニュー画面の+/−、⏮⏭ボタンを使用します。NAVI ボタンを押して確定します。Displayサブメニュー画面が表示されます。

2 サブメニューの+/−、⏮⏭ボタンを使って、ご希望の項目を選択します。NAVI ボタンを押して、選択されたサブ構成画面を開きます。

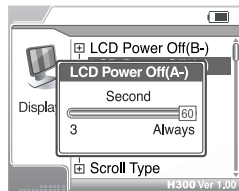
[注]

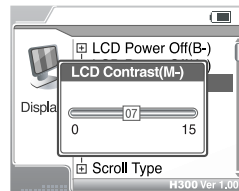
・サブメニュー画面を終了するには、■ボタンを押してから、NAVI ボタンを長押しします。
メニュー画面が表示されます。

LCD Power Off (B.): バッテリの場合

プレーヤーによるバッテリ使用時にバックライトを点灯状態のままにしておく秒数(3~Always)を指定します。⏮⏭ボタンを使って時間を設定し、NAVI ボタンで確定します。

LCD Power OFF (A.): アダプタの場合

プレーヤーのACアダプタへの接続時にバックライトを点灯状態のままにしておく秒数(3~Always)を指定します。
Always: LCD画面のバックライトは、プレーヤーの電源をオフにするか、プレーヤーをACアダプタから切断するまで点灯しています。
+/− ボタンを使って時間を設定し、NAVI ボタンで確定します。

LCD Contrast (M.): プレーヤーの場合

プレーヤーのLCD画面のコントラストを設定します。
0~15の値が設定可能です。
+/−、⏮⏭ボタンを使ってコントラストを設定し、NAVI ボタンで確定します。

LCD Contrast (R.): リモコンの場合

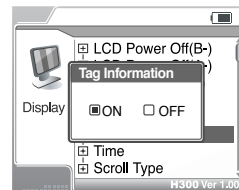
* LCDリモコンは別売製品です。
リモコンのLCD画面のコントラストを設定します。
0~20の値が設定可能です。
+/−、⏮⏭ボタンを使ってコントラストを設定し、NAVI ボタンで確定します。

LCD Bright

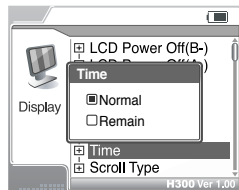
プレーヤーのLCD画面の輝度を設定します。
1~10の値が設定可能です。
+/−、⏮⏭ボタンを使って輝度を設定し、NAVI ボタンで確定します。

Tag Information

ID3タグ音楽ファイル情報を表示または更新します(ONを選択した場合)。OFFを選択すると、ファイル名のみが表示されます。
+/−、⏮⏭ボタンを使ってONまたはOFFを選択し、NAVI ボタンで確定します。

メニューの構成

Time

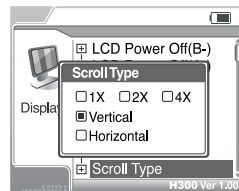
現在のタイトルの残り再生時間を表示します。Normalは再生された時間を表示し、Remainは残り時間を表示します。

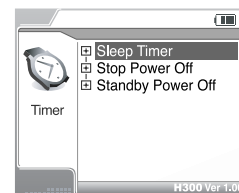
+/−、⏮⏭ ボタンを使ってNormalまたはRemainを選択し、NAVI ボタンで確定します。

[注]

・現在のタイトルが可変ビットレート(VBR)で作成されたものである場合は、残り時間が不正確になる場合があります。

Scroll Type

現在のタイトルをスクロールする方向と速度を設定します。1X、2X、4Xの速度、および垂直方向と水平方向が設定可能です。

+/−、⏮⏭ ボタンを使って1X、2X、4X、Horizontal、またはVerticalを選択し、NAVI ボタンで確定します。

Timer

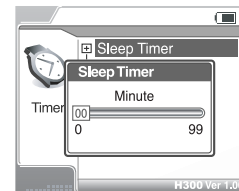
1 メニュー画面の +/−、⏮⏭ ボタンを使ってTimerを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。Timerサブメニュー画面が表示されます。

2 サブメニュー画面の +/−、⏮⏭ ボタンを使って希望のサブオプションを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。選択されたサブメニュー構成画面が表示されます。

[注]

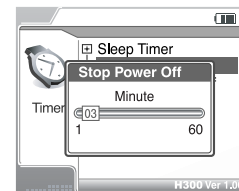
・サブメニュー画面を終了するには、■ ボタンを押してから NAVI ボタンを長押しします。
メインメニュー画面が表示されます。

Sleep Timer

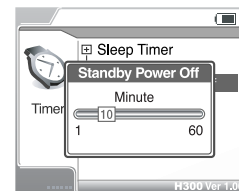
スリープタイマーを設定して、設定した時間が過ぎたら電源がオフになるようにします。1～99分が設定可能です。このオプションを0に設定すると、スリープタイマーは動作しません。

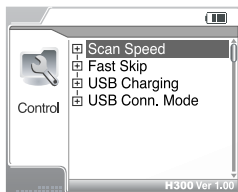
+/−、⏮⏭ ボタンを使ってスリープタイマーを設定し、NAVI ボタンで確定します。

Stop Power Off

Stop Power Offを設定することで、プレーヤーが一定時間アイドル状態となった場合に電源を自動的にオフにすることができます。1～60分が設定可能です。

+/−、⏮⏭ ボタンを使って時間を設定し、NAVI ボタンで確定します。

Standby Power Off

Standby Power Offを設定することで、プレーヤーが録音スタンバイモードで一定時間アイドル状態となった場合に電源を自動的にオフにすることができます。1～60分が設定可能です。

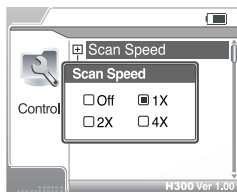
+/−、⏮⏭ ボタンを使って時間を設定し、NAVI ボタンで確定します。

Control

1 ［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使って、メニューからControlを選択します。［NAVI］を押して確定します。Controlサブメニュー画面が表示されます。

2 ［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使って、希望の項目をサブメニューから選択します。［NAVI］を押して確定します。選択された構成画面が表示されます。

[注]

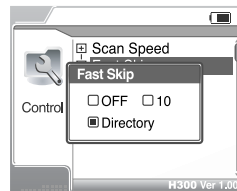
・サブメニュー画面を終了するには、［■］ボタンを押してから［NAVI］ボタンを長押しします。
メインメニュー画面が表示されます。

Scan Speed

高速スキャン機能の速度を設定します。
1X、2X、および4Xの速度が設定可能です。
このオプションをOffに設定すると、この機能がOffになります。
［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使ってOff、1X、2X、または4Xを選択し、［NAVI］ボタンで確定します。

[注]

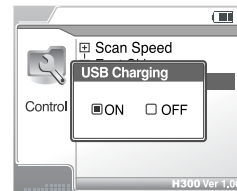
・高速スキャン機能は言語学習機能に役立ちます。

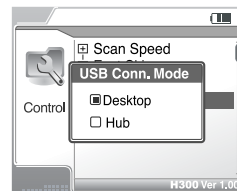
Fast Skip

前後の方向に10ファイルまたは1フォルダだけスキップします。10を選択すると、1回に10ファイルスキップされます。Directoryを選択すると、現在のフォルダがスキップされます。OFFを選択すると、この機能がOffになります。
［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使ってOff、10、またはDirectoryを選択し、［NAVI］ボタンで確定します。

[注]

・高速スキップ機能を使用する場合は、このオプションを10かDirectoryに設定します。プレーヤーが停止中は、［⏮］［⏭］ボタンを2回押してから、長押しします。

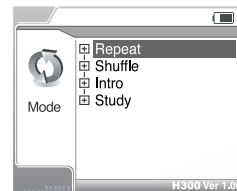
USB Charging

USBケーブルを使い、PCに接続することによって、バッテリ充電します。このオプションをONに設定すると、プレーヤーをPCに接続した時に充電が開始されます。このオプションをOFFに設定すると、プレーヤーをPCに接続しても充電が開始されません。
［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使ってONまたはOFFを選択し、［NAVI］ボタンで確定します。

USB Conn. Mode

USBに接続すると、PCに直接接続するか、あるいは電源のないUSBハブに接続できます。HUBモードを選択した場合は、PCの電源ではなく、内部バッテリを使用する必要があります。

[注]

HUBモードを選択した場合は、USBを使ってバッテリを充電することができま

Play Mode

1 ［＋］／［－］、［⏮］［⏭］ボタンを使って、メニューからModeを選択します。［NAVI］ボタンを押して、確定します。Modeサブメニュー画面が表示されます。

メニューの構成

2 ＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使って、サブメニューから項目を選択します。NAVI ボタンを押して確定します。選択された構成画面が表示されます。

[注]
・サブメニュー画面を終了するには、■ ボタンを押してか NAVI ボタンを長押しします。
メニュー構成画面が表示されます。

Repeat

リピート再生モードを設定します。Repeatモードを設定した場合は、再生中に ● ボタンを使ってリピート機能を使用できます。通常は、この機能を設定します。

以下のモードがサポートされています。

項　目	説　　明	表示
1 Song Only	現在選択されているタイトルがリピートされます。前のタイトルまたは次のタイトルをリピートするには、⏮ ⏭ ボタンを使用します。	1
Directory	選択されたフォルダ内の全てのタイトルが再生され停止します。	D
Directory All	選択されたフォルダ内の全てのタイトルがリピートされます。	D
All Songs	ハードディスクドライブ上の全てのタイトルがリピートされます。	A

＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使って、1 Song Only、Directory、Directory All、またはAll Songsの中から1つを選択し、NAVI ボタンで設定します。終了するには、● ボタンか NAVI ボタンを使います。

Shuffle

Shuffle再生モードを設定します。このモードを設定した場合は、再生中に ● ボタンを使ってShuffle再生機能を活用できます。通常は、この機能を設定します。

以下のモードがサポートされています。

項　目	説　　明	表示
Shuffle	ハードディスクドライブ上の全てのタイトルがランダムに再生されてから、再生が停止します。	SFL
1 Song Only	現在選択されているタイトルがリピートされます。ランダムに新たな曲に切り替え、それをリピートするには、⏮ ⏭ ボタンを使用します。	SFL 1
Directory	選択されたフォルダ内の全てのタイトルがランダムに再生されてから、再生が停止します。	SFL D
Directory All	選択されたフォルダ内の全てのタイトルがランダムにリピートされます。	SFL DA
All Songs	ハードディスクドライブ上の全てのタイトルがランダムにリピートさます。	SFL A

＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使って、Shuffle、1 Song Only、Directory、Directory All、またはAll Songsの中から1つを選択し、NAVI ボタンで設定します。終了するには、NAVI ボタンまたは ■ ボタンを使います。

Intro

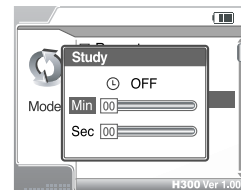
ハードディスク上の各タイトルを曲の始めまたは曲の途中(曲のはじめから1分経過後の位置)から10秒間だけ順々に再生します。オプションONは曲の始めから10秒間を、またHighlight ONは曲の途中から10秒間をそれぞれ再生します。

＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使ってOff、On、またはHighlight Onを選択し、NAVI ボタンで確定します。

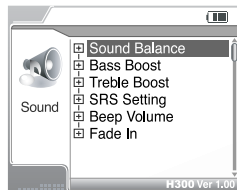
Study

再生中に、設定された時間だけスキップします。最長で10分59秒がサポートされています。

① ＋/－ ボタンを使って分または秒の桁を選択します。⏮ ⏭ ボタンを使って数値を設定します。
② NAVI ボタンを押して確定します。

メニューの構成

Sound

Sound効果の構成中に、リアルタイムで設定をテストする機能を提供します。

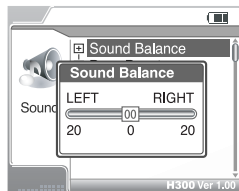
1 、 ボタンを使って、メニューからSoundを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。Soundサブメニュー画面が表示されます。

2 、 ボタンを 使って、サブメニ ューから項目 を選択します。NAVI ボタンを押して確定します。選択された構成画面が表示されます。

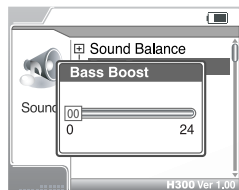
[注]

・サブメニュー 画面を終 了するには、 ボタンを押すか、NAVI ボタンを長押しします。
メニュー画面が表示 されます。

Sound Balance

イヤフォンとヘッドフォン用の左/右の出力バランスを設定します。左に動かすと左側のスピーカのボリュームが増し、右に動かすと右側のスピーカのボリュームが増します。最大値は20です。デフォルト値は0で、左右のスピーカに同じサウンドを出力します。

レベルを設定するには、 、 ボタンを使います。NAVI ボタンを押して確定します。

Bass Boost

Bass出力レベルを設定します。最大24 dBが設定可能です。2dBレベル単位で値を変更します。 、 ボタンを使ってレベルを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

[注]

・Bass Boostで設定された値はUSER EQ設定に適用されます。
Bass Boostの値を変更すると、EQ設定がUSER EQに変わります。

Treble Boost

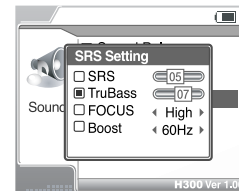
Treble出力レベルを設定します。最大64 dBが設定可能です。2 dBレベル単位で値を変更します。 、 ボタンを使ってレベルを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

[注]

・Treble Boostで設定さ れた値はUSER EQ設定に適 用されます。
Treble Boostの値を変 更すると、EQ設定がUSER EQに変わり ます。

SRS Setting

3Dサウンド効果を設定します。SRS、TruBass、Focus、およびBoostが設定可能です。

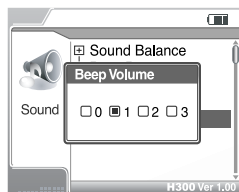
次の表は、各サウンド効果の内容を説明したものです。

項目	説明	段階	デフォルト
SRS	SRSの設定	1~10	5
TruBass	TruBassの設定	1~10	7
FOCUS	サウンド レゾリューション	高/低	高
Boost	サウンドブースト値。イヤフォンまたはヘッドフォンの特性に応じて適切な値を使用する。	40/60/100/150/200/250/300/400 Hz	60 Hz

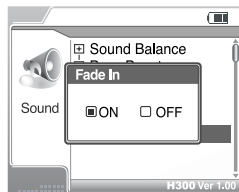
① 項目を選択するには、 ボタンを使用します。
② 段階を設定するには、 ボタンを使用します。NAVI ボタンを押して確定します。

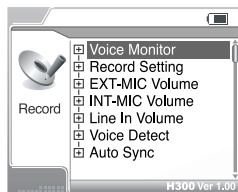
メニューの構成

[注]
・SRS(●)はSRS Labs社の登録商標です。
・SRS(●)とは？
SRS– WOWは、SRS Labs社が開発した仮想3Dサウンド効果システムです。SRSは、SRS、TruBass、Focus、WOWなどのサブ機能から構成されています。

Beep Volume

プレーヤーのボタンを押す際のビープ音のボリュームを設定します。
0： ビープ音機能を使用不能にする。
＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使ってボリュームを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

Fade In

この機能が起動されると、再生モードでのボリュームが徐々に増し、大音量が突然生じる状態を防止します。
＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使ってONまたはOFFを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。

Record

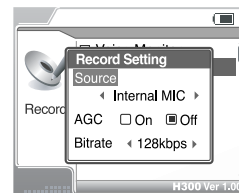
1 ＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使って、メニューからRecordを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。Recordサブメニュー画面が表示されます。

2 ＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使って希望の項目をサブメニューから選択します。NAVI ボタンを押して確定します。選択された構成画面が表示されます。

[注]
・サブメニュー画面を終了するには、■ ボタンを押すか、NAVI ボタンを長押しします。
メインメニュー画面が表示されます。

Voice Monitor

イヤフォンまたはヘッドフォンで録音状態をモニターします(ONに設定してある場合)。
＋/－、⏮ ⏭ ボタンを使ってONまたはOFFを選択します。NAVI ボタンを押して確定します。

Record Setting

AGC ON: 録音時の録音レベルが自動的に調節され、通常は遠距離からの音声が録音できます。
AGC OFF: AGC制御が起動されません。
AGC: Automatic Gain Control
Bitrate: 録音モードごとに別々にビットレートを設定します。
① ＋/－ボタンを使ってソース項目を選択します。⏮ ⏭ ボタンを使って録音方式を選択します。

ソース項目の説明については、下図を参照してください。

項　目	説　　明
Internal MIC	内部マイクを使用。
External MIC	外部マイクを使用。
Line In	外部デバイスを使用。
Tuner	ラジオの受信から録音。

メニューの構成

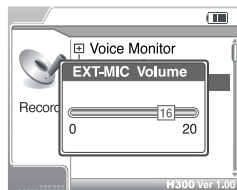
② ソース項目を設定したら、+/− ボタンを使ってステレオ(AGC)項目を選択し、⏮ ⏭ボタンを使って設定します。
③ +/− ボタンを使ってBitrate項目を選択し、⏮ ⏭ ボタンを使って設定します。
④ NAVI ボタンを押して確定します。

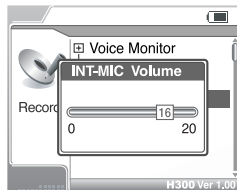
[注]

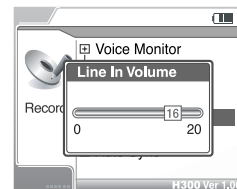
・AGC、Stereo、Bitrate

項目	説　明
Stereo	ステレオ録音を使用します。
Bitrate	録音のビット レートを設定します。高いビットレートを設定すると、品質は高まりますが、ファイルのサイズが大きくなります。40～320 Kbpsがサポートされています。

EXT.MIC Volume

外部マイクのボリュームを調節します。
0～20のレベルが設定可能です。
+/−、⏮ ⏭ボタンを使ってボリュームを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

INT.MIC Volume

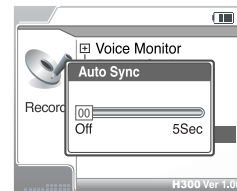
内部マイクのボリュームを調節します。
0－20のレベルが設定可能です。
+/−、⏮ ⏭ ボタンを使ってボリュームを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

Line In Volume

外部デバイスからの録音のボリュームを調節します。0～20のレベルが設定可能です。
+/−、⏮ ⏭ ボタンを使ってボリュームを設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

Voice Detect

ボイス録音モードでは、無音状態の時は自動的に一時停止します。このモードは長時間の録音に有用で、電力浪費の節減に役立ちます。
Level:　レコーダを起動するのに必要なサウンドの相対レベル（1～10）を設定します。00に設定すると、Voice Detect機能がOffになります。
Sec:　一時停止するまでの無音状態の時間を秒数（1～10秒）で設定します。

① +/− ボタンを使ってLevelオプションを選択し、⏮ ⏭ ボタンを使って調節します。
② +/− ボタンを使ってSecオプションを選択し、⏮ ⏭ ボタンを使って調節します。
③ NAVI ボタンを押して確定します。

Auto Sync

Line - Inを使って外部デバイスからの録音中に、テープ、CD、またはレコードから録音する場合は、ソース上のトラック(ポーズ)ごとに新しいファイルが作成されます。
OFF: 音声信号検出機能がOFFにされます。
音声信号検出時間(1～5秒)：　プレーヤーがトラックの終了時を決めて新たなファイルを開始する場合に使用する無音状態の持続時間。
+/−、⏮ ⏭ ボタンを使って時間を設定します。NAVI ボタンを押して確定します。

トラブルシューティング

このセクションでは、基本操作に関する軽度の問題を取り扱います。

症　状	解決方法
電源が入らない	・バッテリが充電されているか確認してください。 ACアダプタを接続して充電してください。
イヤフォンから 音が出ない	・ボリュームレベルが0に設定されていないか確認してください。 ・リモコンとイヤフォンが両方とも適切に接続されているか確認してください。
ボタンが機能しない	・Hold機能が設定されていないか確認してください。 設定されていたらHold機能をリセットしてください。
ノイズが激しい	・リモコンとイヤフォンのコネクタが汚れていないか確認してください。コネクタの表面が汚いと、ノイズが生じることがあります。 ・音楽ファイルを調べてください。確認のため、別の音楽ファイルを使用してみてください。ファイルデータに損傷があると、激しいノイズやスキップが生じることがあります。
LCD画面の文字が 文字化けしている	・言語設定が適切かどうか確認してください。Menu _ General _Languageを使って言語設定を調べてください。詳しくは67ページを参照してください。
LCD画面が暗すぎる	・LCD画面の輝度設定を確認してください。輝度を設定するには、Menu　Display– LCD Contrast(M):Mainを使用してください。詳しくは71ページを参照してください。
ラジオの受信時に ノイズが激しい	・イヤフォンが接続されているか確認してください。ラジオの時にはイヤフォンはアンテナの役目を果たします。イヤフォンがないと、ラジオの受信が機能しません。
チャンネル検索が困難	・イヤフォンが接続されていたら、プレーヤーとイヤフォンの方向を変えてみてください。 ・プレーヤーの近くにある電気機器の電源をオフにしてみてください。ノイズが減ったら、この電気機器から遠くに離してください。
プレーヤーがファイル転送をしない。あるいは、コンピュータ上でドライブとして認識されない。	・USBケーブルが適切に接続されているか確認してください。 ・ACアダプタが適切に接続されているか確認してください。 バッテリが十分に充電されていないと、ダウンロードが適切に機能しないことがあります。

製品仕様

本製品の仕様は以下のとおりです。

分　類	項　目	仕　　様
HDD	容量	20GB(H320), 40GB(H340)
	サイズ	1.8インチ
	ファイルシステム	FAT 32
PC	オペレーティングシステム	Windows 98 SE/ME/2000/XP
	インターフェース	USB 1.1(ホスト)/2.0(デバイス)
オーディオ	周波数	20Hz~20KHz
	ヘッドフォン出力	左: 20mW/右:20mW(16Ω)
		左: 13mW/右:13mW(32Ω)
	S/N比	左:90dB/右:90dB(MP3)
	周波数特性	±2dB
FMラジオ	チャンネル	2チャンネル
	周波数	87.5 MHz~108.0 MHz
	S/N比	50dB
対応 ファイル	アンテナ	イヤフォンコードアンテナ
	ファイル形式	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、
		OGG、WMA、ASF、JPG、BMP
	ビットレート	8Kbps~320Kbps
		(OGG：32Kbps~500Kbps)
	タグ情報	ID3 V1、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0
電源	ACアダプタ	DC 5.0V、2A
	電池	リチウムポリマ電池
全般	寸法	約62mm(幅 x 103mm(高さ)x22mm(奥行き)(320)
		約62mm(幅 x 103mm(高さ)x25mm(奥行き)(340)
	重量	約183g(320)、約203g(340)
	LCD	TFT方式(最大260,000画素カラー)
	動作温度	0℃~+40℃
再生時間	MP3	16時間(44KHz/128Kbps/Volume:20/Normal EQ設定)

FCC認証

本機はFCC規則第15部に準拠しています。動作は以下の条件の対象となります。（1）本機は（他の通信設備に対して）電波障害となりうるような操作を行ってはならない。かつ（2）本機は（本機にとって）望ましくない動作を生じえる、他の通信設備からの干渉を受容しなければならない。

注意：この機器は試験の結果FCC規則第15部に従って、クラスBデジタル機器の制限に準拠すると裁定されました。この制限は家庭設置における有害な干渉に対し十分な保護を提供するために設けられたものです。この機器は無線周波数エネルギーを発生し利用し放出しますが、指示通りに設置されかつ使用されなかった場合には無線通信に有害な干渉を生ずることがあります。しかし、特定の設置で干渉を発生しない保証はありません。この機器が万一ラジオやテレビの受信に有害な干渉を生じた場合、利用者は本機をON/OFFすることによりこれを識別することができ、以下の手段の1つまたは複数により干渉を修正することを推奨します。

- 受信アンテナを再調節するまたは設置場所を変更する。
- 本機と受信機の分離を増進する。
- 受信機が接続されている端子と異なる回路の端子に本機を接続する。
- 販売店または実績あるラジオ/テレビ技能者に相談する。

注意：本機の許可されない改造から生じるラジオやテレビへの干渉について製造業者は責任がありません。このような改造は本機を運用するユーザーの権利を無効にします。

カスタマーサポート

1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。
保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバージャパン サポートセンターまでご相談ください。

アイリバージャパンサポートセンター
0120-266-551　E-mail: info@iriver.co.jp

受付時間：10:00～19:00（祝祭日を除く）

ホームページアドレス　http://www.iriver.co.jp

〒101-0052　東京都千代田区神田小川町2-2 センタークレストビル2F

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

＜ご注意＞

◎本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。◎本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。◎本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。◎イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎて、周囲の迷惑にならないようにご注意ください。◎本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。◎記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

＜商標について＞